

英文講読Ⅰ		通年 2 単位	1年
英文を正確に読む		荒木 純子 (あらき じゅんこ)	
ねらい	語彙の増強からまとまったテキストの読み方まで、英文読解の基本的なスキルを習得し、英文の内容を正確に理解できるようにすることを目標とする。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 インTRODakション 第2回 Chapter 1-1: Unit 1-1 第3回 Chapter 1-2: Unit 1-2 第4回 Chapter 2-1: Unit 2-1 第5回 Chapter 2-2: Unit 2-2 第6回 Chapter 3-1: Unit 3-1 第7回 Chapter 3-2: Unit 3-2 第8回 Chapter 4-1: Unit 4-1 第9回 Chapter 4-2: Unit 4-2 第10回 Chapter 5-1: Unit 5-1 第11回 Chapter 5-2: Unit 5-2 第12回 Chapter 6-1 第13回 Chapter 6-2 第14回 Chapter 7 第15回 前期試験	<b>【後期】</b> 第1回 夏休みのまとめ 第2回 Chapter 8-1: Unit 6-1 第3回 Chapter 8-2: Unit 6-2 第4回 Chapter 9-1: Unit 7-1 第5回 Chapter 9-2: Unit 7-2 第6回 Chapter 10-1: Unit 8-1 第7回 Chapter 10-2: Unit 8-2 第8回 Chapter 11-1: Unit 9-1 第9回 Chapter 11-2: Unit 9-2 第10回 Chapter 12-1: Unit 9-3 第11回 Chapter 12-2: Unit 10-1 第12回 Chapter 13-1: Unit 10-2 第13回 Chapter 13-2 第14回 Chapter 14 第15回 後期試験	
進め方	メインテキストは英米の作家による名文を扱っている。これをほぼ二週間に一章ずつ進めていく。内容についての質疑応答も行う。予習の確認として課題文の内容と単語について的小テストを毎回行う。さらにサブテキストを用い、文法の再確認を行う。こちらも小テストを毎回行う。		
テキスト	『名文で養う英語精読力』（研究社出版） <i>The Essence of College English Grammar</i> (朝日出版)	参考文献	英和辞典を持参すること。その他、授業中に指示する。
評価方法	前期試験:30% 後期試験:30% 毎週の小テスト:30% 夏休み課題:10%		

英文講読Ⅰ		通年 2 単位	1年
フランス印象派絵画の解説書を読み、絵の見方についても学ぶ		加納 孝代 (かのう たかよ)	
ねらい	フランス印象派の代表的な画家であるマネ、ドガ、モネの作品をとりあげた英文の解説書を読む。主語と述語の把握を中心にした文の構造と、文法事項を確認しつつ、意味を正確に理解する練習をする。あわせて絵の見方、味わい方、楽しみ方を知る。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 Portrait of Emile Zola, by E. Manet その1 第2回 Portrait of Emile Zola, by E. Manet その2 第3回 Portrait of Emile Zola, by E. Manet その3 第4回 Portrait of Emile Zola, by E. Manet その4 第5回 Introduction 中の Manet の項 第6回 The Bellellii Family, by E. Degas その1 第7回 The Bellellii Family, by E. Degas その2 第8回 The Bellellii Family, by E. Degas その3 第9回 The Bellellii Family, by E. Degas その4 第10回 Introduction 中の, Degas の項 第11回 The Woman Ironng, by E. Degas その1 第12回 The Woman Ironng, by E. Degas その2 第13回 The Woman Ironng, by E. Degas その3 第14回 The Woman Ironng, by E. Degas その4 第15回 まとめ	<b>【後期】</b> 第1回 La Japonaise, by C. Monet その1 第2回 La Japonaise, by C. Monet その2 第3回 La Japonaise, by C. Monet その3 第4回 La Japonaise, by C. Monet その4 第5回 Introduction 中の, Monet の項 第6回 The Balcony, by E. Manet その1 第7回 The Balcony, by E. Manet その2 第8回 The Balcony, by E. Manet その3 第9回 The Balcony, by E. Manet その4 第10回 Introduction 中の, Japanese Prints の項 第11回 The Luncheon, by C. Monet その1 第12回 The Luncheon, by C. Monet その2 第13回 The Luncheon, by C. Monet その3 第14回 The Luncheon, by C. Monet その4 第15回 まとめ	
進め方	音読を伴う予習は必須。教室でも毎回音読を重視。意味を把握するだけでなく、それを過不足なく表現した日本語訳文にまで仕上げることをめざす。前回分復習の小テストを毎回授業開始時に行うので、遅刻しないこと。		
テキスト	Sophia Wisener: 「現代に生きるモネ、マネ、ドガ」 (英宝社)	参考文献	随時指示
評価方法	毎授業時の小テスト:60% 前・後期末試験:40%		

英文講読 I		通年 2 単位	1年
(Un) Learning from the US History		齋藤 修三 (さいとう しゅうぞう)	
ねらい	語彙の増強からまとまったテキストの読み方まで、英文読解の基本的なスキルを習得し、英文の内容を正確に理解できるようにすることを目標とする。内容面では、合衆国の来し方行く末を多民族・多文化の視点から見つめ直す。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 授業概説～Japanese-Americans (1) 第2回 Japanese-Americans (1) 第3回 Japanese-Americans (1) 第4回 Chinese-Americans 第5回 Chinese-Americans 第6回 Chinese-Americans 第7回 Irish-Americans 第8回 Irish-Americans 第9回 Irish-Americans 第10回 Native-Americans 第11回 Native-Americans 第12回 Native-Americans 第13回 German-Americans 第14回 German-Americans 第15回 前期まとめ	<b>【後期】</b> 第1回 Korean-Americans 第2回 Korean-Americans 第3回 Korean-Americans 第4回 African-Americans 第5回 African-Americans 第6回 African-Americans 第7回 Mexican Immigrants 第8回 Mexican Immigrants 第9回 Mexican Immigrants 第10回 Cuban-Americans 第11回 Cuban-Americans 第12回 Cuban-Americans 第13回 Arab-Americans 第14回 Arab-Americans 第15回 後期まとめ	
進め方	予習は必須。音読・訳読・解釈の訓練や内容についての議論が中心となる。単元終了毎に単語テストを行う。		
テキスト	Kawamura & Muraskin, <i>Ethnic Minorities in the U. S. A.</i> , Seibido. 野村達朗『民族で読むアメリカ』講談社現代新書, 以上2点。	参考文献	ロナルド・タカキ『多文化社会アメリカの歴史——別の鏡に映して』明石書店
評価方法	前後期まとめテスト:50% 単元毎の単語テスト:20% 出席・議論への参加度:30%		

英文講読 I		通年 2 単位	1年
アメリカ文化を理解する		高橋 教雄 (たかはし のりお)	
ねらい	アメリカの祝祭日を紹介する英文を精読しながら、アメリカ社会に対する理解を深めることと、英語の読解力を向上させることを目指します。また、英語を英語として理解するために、特に語彙力の向上を目指します。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 Easter (1) 第2回 Easter (2) + 単語テスト 第3回 Mother's Day (1) 第4回 Mother's Day (2) + 単語テスト 第5回 Independence Day (1) 第6回 Independence Day (2) + 単語テスト 第7回 Columbus Day (1) 第8回 Columbus Day (2) + 単語テスト 第9回 Halloween (1) 第10回 Halloween (2) + 単語テスト 第11回 プリント教材 (1) 第12回 プリント教材 (2) 第13回 プリント教材 (3) 第14回 プリント教材 (4) 第15回 まとめ	<b>【後期】</b> 第1回 Thanksgiving (1) 第2回 Thanksgiving (2) + 単語テスト 第3回 Christmas (1) 第4回 Christmas (2) + 単語テスト 第5回 New Year's Day (1) 第6回 New Year's Day (2) + 単語テスト 第7回 Martin Luther King, Jr. Day (1) 第8回 Martin Luther King, Jr. Day (2) + 単語テスト 第9回 Presidents' Day (1) 第10回 Presidents' Day (2) + 単語テスト 第11回 Valentine's Day (1) 第12回 Valentine's Day (2) + 単語テスト 第13回 プリント教材 (5) 第14回 プリント教材 (6) 第15回 まとめ	
進め方	十分な予習を前提として、語彙の確認と、Q & A 形式による内容把握の練習を積み重ねていきます。また、各事項の背景も取り上げ、理解の深化を図ります。		
テキスト	J. Lauer 著、辻井栄滋編、『アメリカの祝日を読む』三修社 プリント教材	参考文献	
評価方法	出席・授業への参加度:20% 単語小テスト:30% 定期試験:50%		

英文講読Ⅱ		通年 2 単位	2年
名コラムニストのユーモアあふれるエッセイを読む		高橋 和代 (たかはし かずよ)	
ねらい	英文法の基礎事項を確認しつつ、構文把握力を徹底させて、英文を読むことの面白さを体験する。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 Foxholes (1) 第2回 Foxholes (2) 第3回 Sodom, Gomorrah and New York City (1) 第4回 Sodom, Gomorrah and New York City (2) 第5回 Frank Sinatra, Boy and Men (1) 第6回 Frank Sinatra, Boy and Men (2) 第7回 Time for Some New Heroes (1) 第8回 Time for Some New Heroes (2) 第9回 Hazardous to Your Health (1) 第10回 Hazardous to Your Health (2) 第11回 Perfumes (1) 第12回 Perfumes (2) 第13回 Dying to Give to a Worthy Cause (1) 第14回 Dying to Give to a Worthy Cause (2) 第15回 まとめ	<b>【後期】</b> 第1回 What Chair Size Are You? (1) 第2回 What Chair Size Are You? (2) 第3回 The Incredible Shrinking Roll (1) 第4回 The incredible Shrinking Roll (2) 第5回 Out of Fashion (1) 第6回 Out of Fashion (2) 第7回 Stupid Is In (1) 第8回 Stupid Is In (2) 第9回 Get Lost, Christopher Columbus! (1) 第10回 Get Lost, Christopher Columbus! (2) 第11回 Graduate First, Then Learn Something (1) 第12回 Graduate First, Then Learn Something (2) 第13回 Wood Music (1) 第14回 Wood Music (2) 第15回 まとめ	
進め方	予習してくることを必須条件として、構文のとらえ方を習得するように指導していく。授業には必ず英和辞典（中英和以上）を持参すること。		
テキスト	Andrew A. Rooney, <i>Sweet &amp; Sour</i> , 南雲堂 他にプリント教材も併用する予定	参考文献	
評価方法	出席:30% 定期試験:70%		

英文講読Ⅱ		通年 2 単位	2年
ファッションを通して見たイギリス文化史		竹中 豊 (たけなか ゆたか)	
ねらい	17世紀から19世紀までのイングランドについて、服飾文化に焦点をあてながら読みこんでいきます。イラストを楽しみつつ、そこに潜む歴史的背景や社会的意味を考えていきます。英語文化のルーツとして、イギリスのもう一つの顔、つまり「ファッションナブル・イングランド」から「イングリッシュ・エレガンス」まで、その魅力を探ります。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 The Troubled Kings-1 第2回 The Troubles Kings-2 第3回 The Spectator Speaks to Decent Citizens-1 第4回 The Spectator Speaks to Decent Citizens-2 第5回 The Spectator Fights a Fashion War-1 第6回 The Spectator Fights a Fashion War-2 第7回 Pamela and Anglomania-1 第8回 Pamela and Anglomania-2 第9回 Hogarth, an Iconoclast-1 第10回 Hogarth, an Iconoclast-2 第11回 Hogarth's Aesthetic Reconstruction-1 第12回 Hogarth's Aesthetic Reconstruction-2 第13回 A New English Tradition-1 第14回 A New English Tradition-2 第15回 定期試験	<b>【後期】</b> 第1回 Mary Graham —A Sensation-1 第2回 Mary Graham —A Sensation-2 第3回 A Costume Battle-1 第4回 A Costume Battle-2 第5回 Women and Men in English Nature-1 第6回 Women and Men in English Nature-2 第7回 The Dandy-1 第8回 The Dandy-2 第9回 Worth, an Entrepreneur-1 第10回 Worth, an Entrepreneur-2 第11回 Tissot in the Age of Worth-1 第12回 Tissot in the Age of Worth-2 第13回 The Art of Surface-1 第14回 The Art of Surface-2 第15回 定期試験	
進め方	(1) 翻訳を主な目的とせず、あくまで内容理解に重点をおいてすすめます。歴史的な背景や専門用語は、毎回、説明を加えます。(2) 音読に際しては、正しい発音を厳しく指導していきます。(3) 予習を基本前提として、授業を進めていきます。		
テキスト	Fashionable England, by Yuko Hosokawa, Kaibunsha Ltd. 2010	参考文献	授業時に提示します。
評価方法	平常点(含・出席):50% 定期試験:50%		

英文講読Ⅱ		通年 2 単位	2年
より高度な英文読解力の養成		吉野 由起 (よしの ゆき)	
ねらい	多様な時代・ジャンル・長さの英文に触れ総合的な英文読解力・語彙力の充実と向上を図る。(1)長編小説の読解を通じ、まとまった長さの文章に耐えうる高度な読解力を養成し(2)世界の時事問題を扱う記事(授業中に適宜配布・解説)に基づく語彙・文法事項の小テストを定期的に行い、現代の国際社会に通用する視野と教養を涵養する。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 前期イントロダクション 第2回 <i>Robinson Crusoe</i> 7-8 第3回 <i>Robinson Crusoe</i> 9-11 第4回 <i>Robinson Crusoe</i> 13-14 第5回 <i>Robinson Crusoe</i> 15, 小テスト 第6回 <i>Robinson Crusoe</i> 16-18 第7回 <i>Robinson Crusoe</i> 19-20 第8回 <i>Robinson Crusoe</i> 21-22 第9回 <i>Robinson Crusoe</i> 24, 小テスト 第10回 <i>Robinson Crusoe</i> 25-26 第11回 <i>Robinson Crusoe</i> 27-29 第12回 <i>Robinson Crusoe</i> 30-31 第13回 <i>Robinson Crusoe</i> 32-33 第14回 前期まとめと復習 第15回 前期試験	<p>【後期】</p> 第1回 後期イントロダクション、 <i>Robinson Crusoe</i> 34-36 第2回 <i>Robinson Crusoe</i> 37-38 第3回 <i>Robinson Crusoe</i> 39-41 第4回 <i>Robinson Crusoe</i> 43, 小テスト 第5回 <i>Robinson Crusoe</i> 44-46 第6回 <i>Robinson Crusoe</i> 47-48 第7回 <i>Robinson Crusoe</i> 49-50 第8回 <i>Robinson Crusoe</i> 52, 小テスト 第9回 <i>Robinson Crusoe</i> 53-55 第10回 <i>Robinson Crusoe</i> 56-57 第11回 <i>Robinson Crusoe</i> 58-60 第12回 <i>Robinson Crusoe</i> 61-63 第13回 <i>Robinson Crusoe</i> 64-66 第14回 後期まとめと復習 第15回 後期試験	
進め方	テキストの英文の単語の意味、文の構造、意味のまとまりを確認した上で内容把握の訓練を行う。事前にプリントで配布・解説するテキストに基づく語彙・文法事項の小テストを定期的に行い総合的な英語力・語彙力の定着を図る。毎回必ず予習を行い、テキストを熟読した上で授業に臨むこと。		
テキスト	Daniel Defoe, <i>Robinson Crusoe</i> (Macmillan Readers, 2009).	参考文献	適宜授業中に指示する。
評価方法	出席状況:10% 予習・授業参加姿勢:20% 小テスト:20% 前期・後期の期末試験:50%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
英文法の基本確認と英作文演習		飯野 義一 (いいの よしかず)	
ねらい	文法の基本を確認して作文演習し、さらに句動詞(動詞+前置詞、動詞+副詞)を学ぶことで英作文の基礎力を身に付けます。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ガイダンス 第2回 文の成り立ち 第3回 文の種類 第4回 動詞 第5回 5文型 第6回 現在形・過去形 第7回 未来形 第8回 助動詞 第9回 進行形 第10回 完了形 第11回 受動態 第12回 不定詞 第13回 動名詞 第14回 分詞 第15回 前期試験	<p>【後期】</p> 第1回 名詞・冠詞 第2回 代名詞 第3回 形容詞 第4回 副詞 第5回 前置詞 第6回 接続詞 第7回 疑問詞 第8回 関係詞 第9回 比較 第10回 否定 第11回 仮定法 第12回 日常的なテーマについての英作文演習 第13回 日常的なテーマについての英作文演習 第14回 日常的なテーマについての英作文演習 第15回 後期試験	
進め方	毎回、文法のテーマを一つ取り上げて確認し、英作文演習をします。また動詞を一つ取り上げて、句動詞(動詞+前置詞、動詞+副詞)をイメージを使って学びます。そして最後に日常的なテーマについて英作文演習をします。また毎回の授業で文法やボキャブラリーを中心にミニテストを行います。		
テキスト	Basic Grammar For Everyday Writing (朝日出版社)	参考文献	"The Elements of Style""Instant Vocabulary"「イメージでわかる単語帳」
評価方法	出席・授業参加度:20% 平常ミニテスト:30% 定期試験:50%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
パラグラフ・ライティング入門		内田 有紀 (うちだ ゆうき)	
ねらい	それぞれ関心を持っているトピックについて書くことを繰り返ししながら、パラグラフ・ライティングの基礎を学んでいきたいと思えます。まずは英語を書くという行為に慣れること、それから構成のしっかりした英文とは何かという問題について繰り返し考えながら、少しずつそれに近づいていきたいと思えます。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 ガイダンス、書くための道具、パラグラフ、自己紹介文 第2回 プレイン・ストーミングとアウトライン (課題1) 第3回 書く際の注意、ドラフティング (課題1) 第4回 課題1の提出、文法・クリニック、訂正のサイン 第5回 プレイン・ストーミングとアウトライン (課題2) 第6回 ドラフティング (課題2) 第7回 ビア・レビューとリヴィジョン (課題2) 第8回 課題2の提出、文法・クリニック、複数のパラグラフ 第9回 プレイン・ストーミングとアウトライン (課題3) 第10回 ドラフティング (課題3) 第11回 ビア・レビューとリヴィジョン (課題3) 第12回 課題3の提出、文法・クリニック 第13回 課題を発表する 第14回 課題を発表する (続き) 第15回 課題を発表する (続き)	<b>【後期】</b> 第1回 プレイン・ストーミングとアウトライン (課題5) 第2回 ドラフティング (課題5) 第3回 ビア・レビューとリヴィジョン (課題5) 第4回 課題5の提出、文法・クリニック 第5回 プレイン・ストーミングとアウトライン (課題6) 第6回 ドラフティング (課題6) 第7回 ビア・レビューとリヴィジョン (課題6) 第8回 課題6の提出、文法・クリニック 第9回 プレイン・ストーミングとアウトライン (課題7) 第10回 ドラフティング (課題7) 第11回 ビア・レビューとリヴィジョン (課題7) 第12回 課題7の提出、文法・クリニック 第13回 課題を発表する 第14回 課題を発表する (続き) 第15回 課題を発表する (続き)	
進め方	課題ごとにサンプルとなる例文を読み、目的とやり方を解説してから、実際にライティングの作業を行なってもらいます。それぞれの作業の途中経過を確認しながら、より良くするための提案を行ないます。課題の仕上げは宿題としてやってもらうこともあります。出来上がった課題には添削とコメントを加えます。授業計画は状況に応じて変化します。		
テキスト	Yoshihito Sugita and Richard R. Caraker, <i>Primary Course on Paragraph Writing.</i> 成美堂	参考文献	適宜、指示します。和英辞典は毎回持参すること。
評価方法	出席状況:20% 授業への参加態度:40% 課題:40%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
英語らしい表現を目指して		江田 優子 (こうだ ゆうこ)	
ねらい	日本人が英語を書くと、どうしても日本語に干渉されてしまい、和風の英文になってしまう。本講では、基礎となる文法を復習しながら、言葉の背後にある概念、発想、言葉の持つ実際の機能をよく知るにより、自然な英文の作成を主眼に置いて学習を行っていく。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 Introduction 第2回 品詞と文の要素 第3回 記事のまとめ1 (まとめ方の解説) 第4回 SV00/SV0C 第5回 記事のまとめ2 第6回 受動態 第7回 記事のまとめ3 第8回 映画1 第9回 映画2 第10回 助動詞 第11回 記事のまとめ4 第12回 映画3 第13回 映画4 第14回 Review 第15回 期末試験	<b>【後期】</b> 第1回 前期試験の講評と今後の予定について 第2回 接続詞 第3回 Essay Writing 1(Analysis) 第4回 Essay Writing 2 (Analysis) 第5回 Word で作成するEssayの書き練習 第6回 映画5 第7回 映画6 第8回 代名詞 第9回 Essay Writing 3(Comparison ) 第10回 Essay Writing 4(Comparison ) 第11回 関係代名詞 第12回 映画7 第13回 映画8 第14回 Review 第15回 期末試験	
進め方	前期には文法の復習、英文の主語の立て方の練習を行う傍ら、英字新聞の記事のまとめを書き、英語のセンスを養っていく。 後期には英文エッセイのパターンを学び、短い作文を書く練習を進める。		
テキスト	<i>American Spirits in Movies</i> (成美堂)	参考文献	英和・和英辞典を持参のこと。(電子辞書可)
評価方法	出席:20% 授業参加度、タスク:40% 期末試験:40%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
英語表現における文法を学び活用する		下澤 礼子 (しもざわ れいこ)	
ねらい	日常生活のあらゆるテーマにおける文法表現及び語彙を学ぶ		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 Introductions: "About Myself" 第2回 名詞 第3回 代名詞 第4回 自動詞・他動詞・リンキング動詞 第5回 助動詞 第6回 不定詞・動名詞 第7回 場所・動きを表す前置詞 第8回 時間を表す前置詞 第9回 形容詞・副詞 第10回 原級・比較級・最上級 第11回 接続詞 (1) 第12回 現在形・現在進行形 第13回 過去形 第14回 Review 第15回 定期試験	<b>【後期】</b> 第1回 未来形 第2回 現在完了・過去完了 第3回 能動態・受動態 第4回 接続詞 (2) 第5回 否定文 第6回 疑問文・疑問詞・付加疑問文 第7回 関係代名詞・関係副詞 第8回 後置修飾 第9回 仮定法 第10回 話法 第11回 Presentations (1) 第12回 Presentations (2) 第13回 Presentations (3) 第14回 Review 第15回 定期試験	
進め方	テキストに沿って、さまざまな英語の文法表現や語彙を学びながら、授業内外の課題を通して書く作業を進めます。質の高いアウトプットには、質の高いインプットが必要となるため、英語の他の3技能を多角的に高めるアクティビティにも取り組めます。後期には学んだ表現や語彙を使い、各自選んだテーマに沿ったプレゼンテーションをします。		
テキスト	<i>English Grip: Essential English Skills for College Students</i> (金星堂)	参考文献	英和英辞典 (電子辞書可) を毎回持参
評価方法	定期試験:30% 課題提出・語彙テスト:40% 授業への参加:10% 出席:20%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
システムとしての言語		菅野 昌彦 (すがの まさひこ)	
ねらい	現在、数千もの言語が地球上に存在するといわれています。それらの言語に共通する一定のルールが存在するという観点から授業を進めて行きたいです。クラスでは日本語と英語に焦点を合わせ、両言語に存在する相違点・類似点を観察し、いかに言語がシステムティックなものなのかを解説していきたいです。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 guidance 第2回 freewriting 第3回 brainstorming 第4回 outlining 第5回 paragraph order 第6回 cohesion 第7回 point of view 第8回 basic structure of paragraph 第9回 paragraph writing 第10回 structure of essay 第11回 how to write introduction 第12回 how to write supporting paragraph 第13回 how to write conclusion 第14回 review 第15回 test	<b>【後期】</b> 第1回 guidance 第2回 practice 第3回 practice 第4回 practice 第5回 practice 第6回 practice 第7回 practice 第8回 practice 第9回 practice 第10回 practice 第11回 practice 第12回 practice 第13回 practice 第14回 review 第15回 test	
進め方	ライティングは非常に根気のいる作業です。授業について分からない点があった場合、その日のうちに解決していただきたいです。質問し易い雰囲気を作るよう私自身努力しますし、質問イコール私へのフィードバックと考えています。		
テキスト	プリント使用	参考文献	特に無し
評価方法	出席率:10% 試験:90%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
英文法の基礎知識に基づく英作文		高橋 和代 (たかはし かずよ)	
ねらい	英文法の基本事項を整理・確認し、適切な英文を書く能力を身につけることを目指す。特に日本人が間違えやすい事項を中心に確認した上で、英作文の練習をしていく。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 主語の選択 (1) 第2回 主語の選択 (2) 第3回 動詞 (1) 第4回 動詞 (2) 第5回 助動詞 (1) 第6回 助動詞 (2) 第7回 時制：現在と未来 (1) 第8回 時制：現在と未来 (2) 第9回 時制：現在完了と過去 (1) 第10回 時制：現在完了と過去 (2) 第11回 受動態 (1) 第12回 受動態 (2) 第13回 不定詞と動名詞 (1) 第14回 不定詞と動名詞 (2) 第15回 まとめ	<p>【後期】</p> 第1回 形容詞 (1) 第2回 形容詞 (2) 第3回 副詞 (1) 第4回 副詞 (2) 第5回 比較 (1) 第6回 比較 (2) 第7回 接続詞 (1) 第8回 接続詞 (2) 第9回 前置詞 (1) 第10回 前置詞 (2) 第11回 否定表現 (1) 第12回 否定表現 (2) 第13回 関係詞 (1) 第14回 関係詞 (2) 第15回 まとめ	
進め方	十分に予習していることを前提に、授業中に発表してもらう。随時小テストを行う。		
テキスト	木塚晴夫著、『文法力を伸ばす英作文』、音羽書房 鶴見書店	参考文献	
評価方法	出席:15% 小テスト:15% 定期試験:70%		

Introductory College English I	通年 2 単位	1年
Listening and Speaking		
<p>【担当教員】</p>		
<p>オクマ (OKUMA, G. S.)、カリガン (CULLIGAN, B. A.)、シミズ (SHIMIZU, M. M.)、ハンドイエヴァウエラー (HANDJEVA-WELLER,)、ピンター (PINTER, B.)、フィリップス (PHILLIPS, J. R.)、ペンゴスロ (PENGOSRO, E. K.)</p>		
<p>ねらい</p>		
<p>This course aims to improve students' listening and speaking skills in an efficient way. The course is designed around a core vocabulary of 240 essential words. This vocabulary is incorporated into homework and class work exercises that focus on topics familiar and interesting to students. In order to make the most of classroom time, homework will focus on listening, and the class will focus on communicative exchanges between and among students.</p>		
<p>授業計画</p>		
<p>First Semester</p>		
<p>Week 1 Course Goals and Objectives</p>		
<p>Week 2 Unit 1: Talking about Introductions</p>		
<p>Week 3 Unit 2: Talking about Family</p>		
<p>Week 4 Unit 3: Talking about Movies</p>		
<p>Week 5 Unit 4: Talking about Directions</p>		
<p>Week 6 Review; Prepare for Test 1</p>		
<p>Week 7 Test 1</p>		
<p>Week 8 Unit 5: Talking about Travel</p>		
<p>Week 9 Unit 6: Talking about Recipes</p>		
<p>Week 10 Unit 7: Talking about Health</p>		
<p>Week 11 Unit 8: Talking about Making a Speech</p>		
<p>Week 12 Review; Prepare for Test 2</p>		
<p>Week 13 Test 2</p>		
<p>Second Semester</p>		
<p>Week 14 Summer Vacation Speeches</p>		
<p>Week 15 Unit 9: Talking about Music</p>		
<p>Week 16 Unit 10: Talking about Friends</p>		
<p>Week 17 Unit 11: Talking about Money and Jobs</p>		
<p>Week 18 Unit 12: Talking about Superstitions</p>		
<p>Week 19 Review; Prepare for Test 3</p>		
<p>Week 20 Test 3</p>		
<p>Week 21 Unit 13: Talking about Sports</p>		
<p>Week 22 Unit 14: Talking about the News</p>		
<p>Week 23 IP TOEIC Listening</p>		
<p>Week 24 Unit 15: Talking about Fashion</p>		
<p>Week 25 Unit 16: Talking about the Past and Future</p>		
<p>Week 26 One-minute presentations; Review; Prepare for Test 4</p>		
<p>Week 27 Test 4</p>		
<p>進め方</p>		
<p>Each week, you will practice dictation, listening comprehension and discussion with a partner and in small groups. In addition, you will do homework each week consisting of vocabulary and listening exercises. There will also be TOEIC quizzes designed to help you improve your score on the TOEIC and vocabulary quizzes to help you remember new words.</p>		
<p>テキスト</p>		
<p>Booklet</p>		
<p>評価方法</p>		
<p>Your grade for this course will be based on the following:</p>		
<p>Tests 50% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。</p>		
<p>Participation/Homework 20%</p>		
<p>Vocabulary Quizzes 20%</p>		
<p>Presentations and Speeches 10%</p>		
<p>授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない場合はこの授業の成績は「不合格」となります。</p>		



Introductory College English II	通年 2 単位	1年
Writing		
【担当教員】		
<p>オクマ (OKUMA, G. S.)、カーン (KERN, D. L.)、カリガン (CULLIGAN, B. A.)、サノ (SANO, K. M.)、シミズ (SHIMIZU, M. M.)、ハンドィェヴァウエラー (HANDJEVA-WELLER,)、ピンター (PINTER, B.)、ペンゴスロ (PENGOSRO, E. K.)、マーフィー (MURPHY, D. F.) ねらい</p>		
<p>In this course, you will focus on writing paragraphs. By the end of the course, you will be able to write several styles of paragraphs on a variety of topics. You will focus on form, with a particular emphasis on the nature of a paragraph, the topic sentence, supporting sentences, the concluding sentence, transitions, unity, and sentence combining.</p>		
授業計画		
First Semester		
Week 1	Teacher and Course Introduction; Introduction to Paragraph Writing	
Week 2	Sentence Structure and Sentence Combining	
Week 3	3 Parts of a Paragraph; Topic Sentences; Paragraph Unity	
Week 4	Supporting Sentences; Transition Signals; Concluding Sentences; Outlines	
Week 5	Sample Test; Outlines	
Week 6	Test 1	
Week 7	Listing Order Outline and Paragraph; Grammar	
Week 8	Sentence Structure; Concluding Sentences; Error Paragraph 2 (Listing Order)	
Week 9	Introduction to Instructions Paragraph	
Week 10	Paragraph Writing; Concluding Sentences	
Week 11	Paragraph Writing	
Week 12	Review; Explanation of Summer Homework	
Week 13	Test 2	
Second Semester		
Week 14	Space Order Paragraph	
Week 15	Prepositional Phrases; Sentence Structure; Paragraph Writing	
Week 16	Paragraph Writing; Introduction to Reasons and Examples/ Opinion Paragraphs	
Week 17	Complex Sentences; Opinion Paragraphs	
Week 18	Paragraph Writing; Review	
Week 19	Test 3	
Week 20	Opinion Outline and; Paragraph; Facts and Opinions; Error Paragraph 4	
Week 21	Opinion Paragraph and Opinion Transition Signals	
Week 22	Introduction to Opinion/Reaction Paragraph; Paraphrasing	
Week 23	Opinion/Reaction Main-Point Questions and Sample Outline/Paragraph	
Week 24	Reaction Questions; Topic Sentences; Paragraph Writing	
Week 25	Paragraph Writing	
Week 26	Test Preparation; Course Evaluation	
Week 27	Test 4	
進め方		
<p>You will explore the writing process through the techniques of brainstorming, narrowing a topic, outlining, sequencing, and providing evidence and examples. For weekly homework, you will write an outline and/or a paragraph based on a topic sentence set by your teacher. Your teacher will correct your work and return it; you will rewrite the paragraph based on your teacher's comments and corrections.</p>		
テキスト		
First Steps in Academic Writing		
Booklet		
評価方法		
Your grade for this course will be based on the following:		
Tests 50% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。		
Paragraph Assignments 40%		
Homework and Class Participation 10%		
Paragraphs and outlines must be handed in on time. Late paragraphs and outlines will receive a grade of zero.		
<p>授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない場合はこの授業の成績は「不合格」となります。</p>		

Introductory College EnglishIII	通年 2 単位	1年
Reading		
<p>【担当教員】</p>		
<p>カーン (KERN, D. L.)、カリガン (CULLIGAN, B. A.)、サノ (SANO, K. M.)、シミズ (SHIMIZU, M. M.)、ハンドイエヴァウエラー (HANDJEVA-WELLER,)、ピンター (PINTER, B.)、フィリップス (PHILLIPS, J. R.)、ペンゴスロ (PENGOSRO, E. K.)、ホワイト (WHYTE, D. W.)、リムスコグ (RIMSKOG, Christa)</p>		
<p>ねらい</p>		
<p>In this course, you will participate in a student-centered process approach to develop your reading skills. You will learn specific reading strategies, including skimming and scanning, previewing and predicting, guessing meanings of unknown words in context, making inferences, and identifying main ideas and patterns of organization. You will also do extensive reading exercises. During extensive reading, you will apply your developing reading skills by selecting and reading books that match your interests. Finally, you will practice speed-reading to develop accuracy and fluency. Your reading speed will increase through timed readings of passages controlled for vocabulary and sentence structure.</p>		
<p>授業計画</p>		
<p>First Semester</p>		
<p>Week 1 Introduction</p>		
<p>Week 2 Speed Reading and Skimming</p>		
<p>Week 3 Scanning and Thinking Skills</p>		
<p>Week 4 Previewing and Predicting</p>		
<p>Week 5 Making Predictions and Guessing Word Meaning</p>		
<p>Week 6 Review</p>		
<p>Week 7 Test 1</p>		
<p>Week 8 Looking for the Topic</p>		
<p>Week 9 Skimming and Review</p>		
<p>Week 10 Pronouns and Synonyms</p>		
<p>Week 11 Synonyms and Reading Comprehension</p>		
<p>Week 12 What is a Paragraph? Review For Test 2</p>		
<p>Week 13 Test 2</p>		
<p>Second Semester</p>		
<p>Week 14 What is the Topic and Main Idea?</p>		
<p>Week 15 Patterns of Organization</p>		
<p>Week 16 Paragraph Pattern - Listing Order</p>		
<p>Week 17 Paragraph Pattern - Cause and Effect</p>		
<p>Week 18 Skimming and Scanning Review</p>		
<p>Week 19 Test 3</p>		
<p>Week 20 Paragraph Pattern - Time Order</p>		
<p>Week 21 IP TOEIC</p>		
<p>Week 22 Paragraph Pattern- Comparison/Contrast</p>		
<p>Week 23 Speech Contest 2nd period; PM classes: Book Discussion 'Cries from the Heart'</p>		
<p>Week 24 Book Discussion 'Cries from the Heart'</p>		
<p>Week 25 Making Inferences</p>		
<p>Week 26 Making Inferences (continued)</p>		
<p>Week 27 Test 4</p>		
<p>進め方</p>		
<p>Each week, you will practice reading exercises of three types, namely: extensive reading, reading skills and speed-reading.</p>		
<p>テキスト</p>		
<p>Booklet</p>		
<p>評価方法</p>		
<p>Your grade for this course will be based on the following:</p>		
<p>Tests 60% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。</p>		
<p>Graded Reader Reports 20%</p>		
<p>Attendance Participation and Homework 20%</p>		
<p>授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない場合はこの授業の成績は「不合格」となります。</p>		

Intermediate CollegeEnglish	通年 2 単位	2年
INCH		
<p><b>【担当教員】</b>  カリガン (CULLIGAN, B. A.)、シミズ (SHIMIZU, M. M.)、ハンドイエヴァウエラー (HANDJEVA-WELLER,)、ピンター (PINTER, B.)、フィリップス (PHILLIPS, J. R.)、ホワイト (WHYTE, D. W.)  ねらい  In this course, you will make use of the English you already know and continue to develop the reading and discussion skills you learned last year. During the year, you will concentrate on four broad issues that face the world today. Each week, you will read in depth one or more articles relating to a particular issue. You will then prepare to discuss the questions raised by this article in class. For each of the four broad areas covered, you will be responsible for finding a related article and summarizing and explaining it, and your opinions on it, to your classmates.</p> <p><b>授業計画</b>  First Semester  Week 1 Introduction - Minamata  Week 2 Minamata  Week 3 Water  Week 4 Water - Fast Food  Week 5 Fast Food  Week 6 Unit 1 - News Report Presentations  Week 7 Comprehension Test 1 - Discussion Test 1  Week 8 Parasite Singles  Week 9 Parasite Singles - Charity  Week 10 Charity - HIV/AIDS  Week 11 HIV/AIDS  Week 12 Unit 2 - News Report Presentations  Week 13 Comprehension Test 2 - Discussion Test 2</p> <p>Second Semester  Week 14 Smoking  Week 15 Smoking - Organ Donation  Week 16 Organ Donation  Week 17 Cloning  Week 18 Unit 3 - News Report Presentations  Week 19 Comprehension Test 3 - Discussion Test 3  Week 20 TOEIC  Week 21 TOEIC  Week 22 Work (Japan)  Week 23 Work (Japan) - Work (Japan and Abroad)  Week 24 Work (Japan and Abroad)  Week 25 Review for Test 4  Week 26 Unit 4 - News Report Presentations  Week 27 Comprehension Test 4 - Discussion Test 4</p> <p><b>進め方</b>  For homework, there will be one or two articles to read followed by vocabulary and comprehension questions. The teacher and students will discuss the articles in class and go over the questions raised in the homework. Following this, students will choose questions for discussion or debate in the next class. Students might also be asked to give short presentations on discussion questions. At the conclusion of each of the four major topics of the course, students will find a related news report and write a summary and opinion for homework, which they will then present to their classmates.</p> <p><b>テキスト</b>  Booklet  An English-English dictionary (electronic or otherwise) is recommended.</p> <p><b>評価方法</b>  Your grade will be based upon the following:  Tests 75% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。  Attendance, class work, participation and homework 25%</p> <p>授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない場合はこの授業の成績は「不合格」となります。</p>		

英語学概論		通年 4 単位	1年
現代英語の仕組み		高野 嘉明 (たかの よしあき)	
ねらい	現代英語の母音や子音などの音声、形態論や統語論などの文法、および語や文の意味についてしっかりと理解することをこの授業の主な目的としますが、英語の歴史的な側面についても概観します。また英語と日本語の違いについても検討したいと思います。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 前期分のガイダンス 第2回 英語の音声：発音器官 第3回 英語の音声：単母音 第4回 英語の音声：二重母音 第5回 英語の音声：調音点による子音の分類 第6回 英語の音声：調音法による子音の分類 第7回 英語の音声：音素と異音 第8回 英語の音声：音連続 第9回 英語の音声：強勢 第10回 英語の音声：イントネーション 第11回 英語の文法：形態素の種類と機能(1) 第12回 英語の文法：形態素の種類と機能(2) 第13回 英語の文法：語形成 第14回 前期分のまとめ 第15回 前期定期試験	<p>【後期】</p> 第1回 後期分のガイダンス 第2回 英語の文法：品詞論 第3回 英語の文法：文の要素 第4回 英語の文法：機能からみた文の種類 第5回 英語の文法：構造からみた文の種類 第6回 英語の意味：語の成分分析 第7回 英語の意味：語の上下関係と類義性 第8回 英語の意味：語の反意性と曖昧性 第9回 英語の意味：文の意味(1) 第10回 英語の意味：文の意味(2) 第11回 英語の歴史：古英語 第12回 英語の歴史：中英語 第13回 英語の歴史：近代英語 第14回 後期分のまとめ 第15回 後期定期試験	
進め方	基本的にはテキストを参照しながら講義形式で授業を進めますが、必要に応じてプリントも配布します。質問をして答えてもらうことも頻繁にあります。また、英語と日本語の違いについてもしばしば取り上げます。		
テキスト	増田秀夫他『現代英語学入門』（聖文新社）	参考文献	必要に応じて授業中に適宜紹介します。
評価方法	出席:30% 授業への参加度:10% 前期定期試験:30% 後期定期試験:30%		

英語学概論		通年 4 単位	1年
英語をさまざまな角度から検証する		中本 恭平 (なかもと きょうへい)	
ねらい	(1) 英語という言語をさまざまな角度から検証する。 (2) 英語と日本語の類似点・相違点を探る。 (3) 英語（および日本語）を通して、「人間のことば」とは何なのかを考える。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ガイダンス 第2回 意味論 [1] 第3回 意味論 [2] 第4回 意味論 [3] 第5回 意味論 [4] 第6回 意味論 [5] 第7回 意味論 [6] 第8回 意味論 [7] 第9回 形態論と語形成 [1] 第10回 形態論と語形成 [2] 第11回 形態論と語形成 [3] 第12回 形態論と語形成 [4] 第13回 形態論と語形成 [5] 第14回 前期の復習 第15回 前期試験	<p>【後期】</p> 第1回 統語論 第2回 音韻論と音声学 [1] 第3回 音韻論と音声学 [2] 第4回 音韻論と音声学 [3] 第5回 語用論 [1] 第6回 語用論 [2] 第7回 語用論 [3] 第8回 語用論 [4] 第9回 語用論 [5] 第10回 社会言語学 [1] 第11回 社会言語学 [2] 第12回 英語史 第13回 世界の英語 第14回 後期の復習 第15回 後期試験	
進め方	講義形式で進めるが、板書事項を単に書き写し、それを丸暗記するタイプの授業ではない。また、受講生は「参考文献」欄に記した各文献（事典類を含む）を読むことが求められている。		
テキスト	市販のテキストは使用しない。	参考文献	短大図書館備え付けの「授業別・指定参考図書リスト」を参照。
評価方法	試験:80% 平常点:20%		

英語学概論		通年 4 単位	1年
英語を学問的見地から学ぶ		山本 史歩子 (やまもと しほこ)	
ねらい	本講義の到達点は、外国語としての英語から学問としての英語を様々な角度から学び、専門的な知識を習得する。具体的には、音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、英語史を中心に知識を深める。更には、応用言語学である、英語教育、社会言語学などにも触れ、ことば・社会・人とのかわりについて考える。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 オリエンテーション 第2回 比較言語学とインド・ヨーロッパ祖語の発見 第3回 ゲルマン民族の移動と英語の始まり 第4回 ゲルマン民族の移動とアジアとの関係 第5回 古英語 第6回 中英語 第7回 近代英語 第8回 アメリカ英語、イギリス英語 第9回 カナダ英語、オーストラリア・ニュージーランド英語 第10回 ビジネス・クリオールと世界の英語 第11回 英語の多様性と「正しい英語」 第12回 規範から科学へ 第13回 歴史主義から構造主義へ 第14回 言語能力の解明と言語学 第15回 前期定期試験	<b>【後期】</b> 第1回 認知と言語 第2回 文を超えた文法 第3回 コーパス言語学 第4回 日本の英語研究と伝統 第5回 現代英語の文法(1)一文と文を構成する 第6回 現代英語の文法(2)一品詞とその機能 第7回 現代英語の音声と音韻 第8回 語彙・イディオム・成句表現と辞書 第9回 語用論的情報の諸相 第10回 人はいかにして言語を獲得するか 第11回 人はいかにして言語を処理するか 第12回 英語の地方方言と社会方言 第13回 英語とジェンダー 第14回 日本の英語教育の歩み 第15回 後期定期試験	
進め方	基本的には講義形式ですすめるが、学生たちの積極的な意見・コメント・質問などを期待している。学生たちはあらかじめ予習をしておくこと。		
テキスト	『新英語学概論』 八木克正編 (英宝社) 2007	参考文献	適宜授業内で指示
評価方法	前期・後期定期試験:80% 授業への参加点:15% 出席点:5%		

英国史		通年 4 単位	1年
イギリスの歴史をつくった女性たち		梅垣 千尋 (うめがき ちひろ)	
ねらい	近世から現代にいたるまで、イギリスのさまざまな時代を生きてきた女性たちの姿をつうじて、英国史の流れをつかみ、イギリス社会の成り立ちを理解する。同時に、それぞれの女性たちがどのようにして自分の人生を意味あるものにしていったのかを学ぶことにより、女性の生き方について考える。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 イントロダクション 第2回 概説:16世紀までのイギリス 第3回 エリザベス1世:英国国教会体制の確立 第4回 『エリザベス』:宗教対立の時代 第5回 メアリー・ステュアート:連合王国の成立過程 第6回 マーガレット・キャヴェンディッシュ:17世紀の科学革命 第7回 『ハリー・ポッター』から:錬金術・科学・ジェンダー 第8回 メアリー・アステル:18世紀の啓蒙と宗教 第9回 フィリス・ウィートリー:アメリカ独立と奴隷貿易 第10回 デヴォンシャー公爵夫人:議会政治の形成過程 第11回 メアリー・ウルストンクラフト:革命とフェミニズム 第12回 ジェイン・オースティン:近代小説の成立過程 第13回 『いつか晴れた日に』:女性にとつての結婚 第14回 まとめ 第15回 前期試験	<b>【後期】</b> 第1回 概説:19世紀以降のイギリス 第2回 ヴィクトリア女王:大英帝国の繁栄 第3回 シャーロット・ブロンテ:ヴィクトリア時代の道徳規範 第4回 『ジェイン・エア』:ガヴァネスとしての女性 第5回 フローレンス・ナイティンゲール:戦争と看護の専門化 第6回 アンナ・レオノーウェンス:大英帝国とその周縁 第7回 『アンナと王様』:オリエンタリズムと帝国主義 第8回 ミリセント・フォーセット:女性参政権運動の展開 第9回 ピアトリクス・ポター:工業化と自然保護 第10回 『ミス・ポター』:女性にとつての家庭 第11回 ヴァージニア・ウルフ:戦間期イギリス社会の変容 第12回 マーガレット・サッチャー:新自由主義の功罪 第13回 ヴィヴィアン・ウエストウッド:ファッションと文化創造 第14回 学年末教場レポート執筆 第15回 後期試験	
進め方	講義が中心となるが、可能なかぎり映画などの映像資料を使用して理解の助けとしたい。授業時間内に毎回コメントや質問を書いてもらい、次回にリプライするかたちをとるので、受け身にならず授業に臨んでほしい。		
テキスト	特に使用せず、授業中に配布するプリント(パワーポイントのスライド・コピー)を教材にする。	参考文献	授業中に配布する参考文献一覧表と、図書館カウンターにある2010年度指定参考図書目録を参照のこと。
評価方法	出席状況:10% 授業中に書くコメント:10% 学年末教場レポート:10% 前期・後期の期末試験:70%		

英国史		通年 4 単位	1年
イギリスの過去を知り、現在を知る		甲斐 祥子 (かい しょうこ)	
ねらい	各人が抱く多様なイギリス像—議会制の母国、伝統のある美しい国、先端的な若者文化の国、フーリガンの国等々—これらはすべて、イギリスの歴史に根ざしている。歴史を知ることで、表面的なイギリス像の下に見えてくるものがある。本講義は、英国史を通じて、過去が現在をいかに形作っているかを洞察し、イギリスへの理解を深めることをめざす。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 序論—イギリス史を学ぶとは？ 第2回 イギリスの歴史のはじまり 第3回 アングロ・サクソン民族とイギリスの基礎 第4回 イングランド王国の形成 第5回 ノルマン人の征服1 第6回 ノルマン人の征服2 第7回 イングランド封建国家 第8回 アンジュー帝国 第9回 イギリス立憲政治の基礎1 第10回 イギリス立憲政治の基礎2 第11回 島国国家の形成 第12回 百年戦争と封建社会の変容1 第13回 百年戦争と封建社会の変容2 第14回 ばら戦争とテューダー朝の創始 第15回 まとめ	<b>【後期】</b> 第1回 イングランド宗教改革1 第2回 イングランド宗教改革2 第3回 エリザベス時代の光と影 第4回 イギリス革命1 第5回 イギリス革命2 第6回 イギリス革命3 第7回 名誉革命体制 第8回 植民地帝国の形成 第9回 二重革命の時代 第10回 改革の時代から繁栄の時代へ 第11回 大英帝国の繁栄と衰退 第12回 帝国主義の時代 第13回 2つの世界大戦 第14回 新しい時代のイギリス 第15回 まとめ	
進め方	時代順にテーマを設定し、1つのテーマを1～3回かけて論ずる。テキストを読み進めるという形式はとらないが、参考資料および補助教材として用いるので、授業時にはテキストを持参すること。		
テキスト	指昭博『図説 イギリスの歴史』（河出書房新社）	参考文献	『（世界歴史大系）イギリス史1、2、3』（山川出版社）、『（新版世界各国史11）イギリス史』（山川出版社）、『イギリスの歴史』（有斐閣）
評価方法	試験:40% レポート:30% 出席:30%		

米国史		通年 4 単位	1年
アメリカ合衆国の歴史		荒木 純子 (あらか きじゅんこ)	
ねらい	アメリカ合衆国の歴史について学ぶ。新大陸の発見からたった数百年の間に世界の覇権国家と発展した大国であると同時に、価値観の多様化・グローバル化により現在いろいろな問題を多く抱えているアメリカについて、歴史的な資料や最新ニュースも取り入れつつ理解を深める。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 イントロダクション 第2回 地図 第3回 地理 第4回 植民地以前 第5回 植民地時代 第6回 独立・建国期 第7回 19世紀前半 第8回 南北戦争と再建時代 第9回 ギルテッド・エイジ 第10回 革新主義 第11回 第一次世界大戦 第12回 1920年代 第13回 第二次世界大戦 第14回 まとめ 第15回 前期試験	<b>【後期】</b> 第1回 夏休みのまとめ 第2回 冷戦 第3回 公民権運動 第4回 1970年代 第5回 世紀転換期 第6回 ネイティブ・アメリカン 第7回 アフリカ系アメリカ人 第8回 ラティノ/ヒスパニック 第9回 アジア系アメリカ人 第10回 ジェンダー 第11回 政治思想 第12回 宗教 第13回 ポピュラーカルチャー 第14回 まとめ 第15回 後期試験	
進め方	主として講義形式で進める。時代順に進め、現代まで到達した後はトピック別にアメリカ社会を分析する。その際、テキストや文字史料だけでなく、ビデオや画像も使用して理解を深める。予習の資料や講義の内容などについて、簡単なコメントを毎回提出してもらおう。各学期末には試験を行う。夏休みにはレポート課題がある。		
テキスト	有賀賀紀・油井大三郎編『アメリカの歴史』（有斐閣アルマ、2003）、亀井俊介編『アメリカ文化史入門』（昭和三、2006）他、プリントを配布する。	参考文献	斎藤真他監修『アメリカを知る事典（新訂増補版）』（平凡社、2000）他、授業中に指示する。
評価方法	前期試験:30% 後期試験:30% 夏休みの課題:20% 出席（コメント）:20%		

米国史		通年 4 単位	1年
スクリーンで旅するアメリカ—映画を通して米国史を学ぶ		岩本 裕子 (いわもと ひろこ)	
ねらい	歴史を学ぶことに拒否反応を示す学生にも米国に関心のない学生にも、1年間受講することで「米国のことが気になって仕方がない」と思える講義としたい。「歴史を学ぶ」ことは「暗記する」ことではなく「考える」ことである。映画を読み解きながら米国史を講義する。「歴史を学ぶことが大切だとわかる映画好き」になり「考える」学生に成長しよう		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 2010年春のニュースを読む—新聞を読んでいますか？ 第2回 合衆国代表三賞（グラミー・アカデミー・トニー）を知る 第3回 合衆国建国ゆかりの東海岸を旅する 第4回 さまよえる首都物語を知る 第5回 不可思議な南部を旅して黒人史を学ぶ（後期への導入） 第6回 ルート66で西部へ向かう（シカゴからLAへ） 第7回 「人生の実験場」であるカリフォルニア州を学ぶ 第8回 「映画の都」ハリウッドの光と影を知る 第9回 テキサス州とフロリダ州を比較する 第10回 「オキナワ」から日米関係を考える 第11回 小さな州（大平原、五大湖周辺、砂漠、山岳など）から学ぶ 第12回 戦争というキーワードで首都をめぐる 第13回 連邦祝日「7月4日」を通して愛国心を考える 第14回 マンハッタン計画を学びヒロシマ・ナガサキを考える 第15回 前期末試験	<b>【後期】</b> 第1回 2010年夏のニュースを読む—夏休みに新聞を読んだ？ 第2回 「2009オバマ大統領就任記念コンサート」を読み解く 第3回 オバマ大統領の登場意義をアメリカ史の流れで考える 第4回 映画で黒人女性を知る その1 「ドリームガールズ」 第5回 映画で黒人女性を知る その2 「ビリー・ホリデイ物語」 第6回 映画で黒人女性を知る その3 「キャデラック・レコード」 第7回 黒人史を映画に学ぶ①—ヒップホップの源流をたどる 第8回 黒人史を映画に学ぶ②—白人から黒人への暴力を知る 第9回 黒人史を映画に学ぶ③—黒人社会内部の暴力を考える 第10回 真珠湾攻撃69年目に映画『パールハーバー』を読む 第11回 映画で黒人女性を知る その4 「ダンドリッジ物語」 第12回 映画で黒人女性を知る その5 “We are the world” 第13回 黒人教会のクリスマス礼拝に参加する 第14回 最終講義に「贈る言葉」を見つけてみましょう！ 第15回 年度末試験	
進め方	講義では毎回、可能な限り音楽を聞き、映画は7分間程度一部分だけが見ていきたい。映画は単なる娯楽ではなく、歴史を考える重要な教材であることをスクリーンを通して実証していく。耳と目でも米国を実感してほしい。身近な音楽や何気なく見ている映画に意味があることを確認してほしい。		
テキスト	通年テキストは岩本裕子『スクリーンで旅するアメリカ』（メタ・ブレーン、1998年）並びに後期には拙著新刊（2010年10月刊行予定）を追加	参考文献	日本を含めた世界のニュースに関して毎回講義で言及する。TV欄以外の日々の朝刊、夕刊は必読の参考書となるだろう。新聞を読んで時事問題に強くな
評価方法	積極的な講義参加（出席）：20% 夏休み中のレポート：20% 前期試験：25% 後期試験：35%		

英米文化研究		通年 8 単位	2年
The History and Culture of Canada		フィリップス (PHILLIPS, J.R.)	
ねらい	This course will provide an overview of the history and culture of Canada. Emphasis will be placed on the way in which Canadian history and culture has evolved in a way distinct from that of the United States, resulting in superficially similar but deeply different societies.		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 Introduction 第2回 Thinking about History 第3回 First Nations 第4回 When World's Collide - First Contact 第5回 The Rise of New France 第6回 The Fall of New France 第7回 The Failed Republic 第8回 The Roads to Confederation 第9回 From Colony to Country 第10回 World War 1 第11回 Hard Times - Depression and War 第12回 The Quiet Revolution - Constitution and Nationalism 第13回 Canadian History Quiz - Research Topics	<b>【後期】</b> 第1回 Thinking about Culture - Term 1 Report due 第2回 Canada - USA: Similarities and Differences 第3回 Immigration and Multiculturalism 第4回 The Japanese in Canada 1 第5回 The Japanese in Canada 2 第6回 Literature, Arts and Music 第7回 Sports and Leisure 第8回 The Environment 第9回 Peacekeeping 第10回 Work, Health and Welfare 第11回 The Future of Canada 第12回 Culture Summary - Research Topics 第13回 Canadian Culture Quiz 第14回 Quiz and Report Feedback- Term 2 Report due	
進め方	Each week, there will be a reading assignment set for homework. In class there will be one period consisting of a lecture and/or presentation followed by discussion in the second period. The lecture and discussion will be based on or related to the reading assignment.		
テキスト	Printed handouts will be provided each week.	参考文献	A list of references will be provided.
評価方法	Quizzes:40% Reports:40% Attendance, participation and homework:20%		



英米文化研究		通年 8 単位	2年
アメリカ社会と「ユートピア」		荒木 純子 (あらき じゅんこ)	
ねらい	アメリカという国はいわば「ユートピア」を実際に行った社会である。そのアメリカ社会の基盤として大きな影響力を持ったキリスト教の発展を学びつつ、アメリカ社会を「ユートピア」という観点から眺め、多様な人々をまとめてきた要素について考えたい。また科学技術の発展も視野に入れ、現代世界におけるアメリカニゼーションについても考察す		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 イントロダクション 第2回 アカデミックスキルズ1 第3回 アカデミックスキルズ2 第4回 アカデミックスキルズ3 第5回 アカデミックスキルズ4 第6回 アカデミックスキルズ5 第7回 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター訪問 第8回 キリスト教基礎知識、『アメリカ・キリスト教史』序章 第9回 第1章、第2章 第10回 第3章、第4章 第11回 第5章、第6章 第12回 第7章、第8章 第13回 第9章、第10章 第14回 第11章、第12章 第15回 まとめ	<b>【後期】</b> 第1回 夏休みのまとめ 第2回 共和主義 第3回 ユートピア小説 第4回 万国博覧会、遊園地 第5回 ディズニールランド 第6回 学外授業 第7回 中間まとめ 第8回 学生による発表 第9回 学生による発表 第10回 学生による発表 第11回 学生による発表 第12回 学生による発表 第13回 学生による発表 第14回 学生による発表 第15回 まとめ	
進め方	後期前半まではテキスト及び配布資料（英文、和文）を全員で議論する。後期後半には各自関連トピックについてリサーチの上、口頭発表をしてもらう。日本語参考文献より数回小レポートを提出してもらう。前期末にはまとめのレポートを、後期末は各自の口頭発表と関連した長めのレポートを提出してもらう。その他、図書館等学内外での授業を		
テキスト	佐藤望編『アカデミック・スキルズ』（慶應義塾大学出版会、2006）、森本あんり『アメリカ・キリスト教史』（新教出版社、2006）他、プリント（英	参考文献	小林康夫・船曳建夫『新・知の技法』（東京大学出版会、1998）他、授業中に指示する。
評価方法	前期レポート:30% 後期レポート:30% ブックレポート:15% 口頭発表:10% 出席・授業への参加:15%		

英米文化研究		通年 8 単位	2年
アメリカの社会と政治・外交		石井 貴太郎 (いしい かんたろう)	
ねらい	過去200年間にわたるアメリカ政治・外交の過程が、その社会システムの特色から生み出されるものであることを理解しつつ、現代アメリカ社会への洞察力を養うとともに、日本社会との比較考察を試みていく。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 アメリカ政治外交の概説と輪読テキストの紹介 第2回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第3回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第4回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第5回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第6回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第7回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第8回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第9回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第10回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第11回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第12回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第13回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第14回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第15回 前期講義のまとめ	<b>【後期】</b> 第1回 アメリカ社会の概説と輪読テキストの紹介 第2回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第3回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第4回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第5回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第6回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第7回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第8回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第9回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第10回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第11回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第12回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第13回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第14回 各担当者による報告と質疑応答および討論 第15回 後期講義のまとめ	
進め方	毎回の講義であらかじめ割り当てられた担当者が報告し、その内容を基に質疑応答および討論を行なう。		
テキスト	矢野重喜（編）『新・アメリカ研究入門』（成美堂） 石井貴太郎『現代社会を論ずるための30章』（芦	参考文献	必要に応じて講義中に指示する。
評価方法	報告内容の得点:20% 平常点（出席率および受講態度）:80%		



英米文化研究		通年 8 単位	2年
映画からみるイギリス社会		梅垣 千尋 (うめがき ちひろ)	
ねらい	優れた映画作品は、豊かな想像力と深い考察力を身につけるための恰好の材料となる。このゼミでは、社会的な題材を扱ったいくつかの映画をつうじて、イギリス社会の諸問題にかんする理解を深めるとともに、そこで暮らすさまざまな人びとの生き方を学ぶ。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 イントロダクション 第2回 『ウェールズの山』：連合王国としてのイギリス (1) 第3回 『ウェールズの山』：連合王国としてのイギリス (2) 第4回 『ボクサー』：北アイルランド問題 (1) 第5回 『ボクサー』：北アイルランド問題 (2) 第6回 『リタと大学教授』：労働者階級と高等教育 (1) 第7回 『リタと大学教授』：労働者階級と高等教育 (2) 第8回 『リトル・ダンサー』：サッチャー主義の功罪 (1) 第9回 『リトル・ダンサー』：サッチャー主義の功罪 (2) 第10回 『レディバード・レディバード』：福祉国家のあり方 (1) 第11回 『レディバード・レディバード』：福祉国家のあり方 (2) 第12回 『ベッカムに恋して』：多文化社会イギリス (1) 第13回 『ベッカムに恋して』：多文化社会イギリス (2) 第14回 まとめ (1) 第15回 まとめ (2)	<b>【後期】</b> 第1回 後期イントロダクション：卒論にむけて 第2回 卒論個人面談 第3回 『マグダレンの祈り』：アイルランドの宗教と女性 (1) 第4回 『マグダレンの祈り』：アイルランドの宗教と女性 (2) 第5回 『裸足の1500マイル』：オーストラリアと人種主義 (1) 第6回 『裸足の1500マイル』：オーストラリアと人種主義 (2) 第7回 学外映画鑑賞 第8回 学外映画鑑賞のふりかえり 第9回 卒論発表 (1) 第10回 卒論発表 (2) 第11回 卒論発表 (3) 第12回 卒論発表 (4) 第13回 卒論発表 (5) 第14回 卒論発表 (6) 第15回 まとめ	
進め方	映画鑑賞、映画の内容にかんする英文講読、台詞の音読と翻訳、映画の背景にかんするトピックス発表、ディスカッションなどを織り交ぜながら授業を進める。また後期には、授業と平行して卒業論文の作成に取り組む。なお映画によっては授業時間が変動する場合もあるので、その旨あらかじめ承しておいてほしい。		
テキスト	特に使用せず、授業中に配布するプリント（英文の雑誌記事）を教材にする。	参考文献	必要に応じて授業中に適宜紹介する。
評価方法	出席状況:10% 授業への参加姿勢:30% 学期中の小レポート:30% 学年末の卒業論文:30%		

英米文化研究		通年 8 単位	2年
夏目漱石の英国留学体験		加納 孝代 (かのう たかよ)	
ねらい	夏目漱石の英国留学体験の意味を明らかにする。近代日本の最も重要な文化人の一人である漱石は、1900年から1902年の約2年間、当時世界最強の「大英帝国」の首都ロンドンに滞在した。その中で彼が自分の祖国である日本をどのように振り返り、反省し、再評価をしたかを理解する。またその体験から生まれた漱石の文学作品を理解する。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 夏目漱石の生涯と仕事の概要 第2回 明治日本の歩みと、英国留学までの漱石 第3回 英国までの旅。書簡と日記。『夢十夜』の「第七夜」 第4回 ロンドンの印象。書簡と日記精読 第5回 大都市ロンドン。『永日小品』中の「印象」研究 第6回 英国人の家庭。『永日小品』中の「下宿」研究 第7回 同上。『永日小品』中の「過去の匂い」研究 第8回 演劇体験。『永日小品』中の「暖かい夢」研究 第9回 『ホトトギス』と子規と漱石。『倫敦消息』研究その1 第10回 英国人との付き合い方。『倫敦消息』研究その2 第11回 ロンドンの美術館体験。漱石と『スチューディオ』 第12回 『永日小品』中の「クレイグ先生」研究その1 第13回 『永日小品』中の「クレイグ先生」研究その2 第14回 留学中の精神状態。『自転車日記』研究 第15回 漱石の英国留學生活の総括	<b>【後期】</b> 第1回 英国留学を経て生まれた漱石の文学作品 第2回 『倫敦塔』研究その1 第3回 『倫敦塔』研究その2 第4回 『倫敦塔』研究その3 第5回 『倫敦塔』研究その4 第6回 『カーライル博物館』研究その1 第7回 『カーライル博物館』研究その2 第8回 『カーライル博物館』研究その3 第9回 『薙露行』研究その1 第10回 『薙露行』研究その2 第11回 『薙露行』研究その3 第12回 『薙露行』研究その4 第13回 『薙露行』研究その5 第14回 『永日小品』中の「昔」研究 第15回 『永日小品』中の「霧」研究	
進め方	毎回全員参加の形で夏目漱石の留学中の日記や書簡、随筆、小説などを読み、ディスカッションをする。授業中に指示した参考文献のブックレポートを前・後期に各5通提出。前期と後期末に期末レポートを各1通提出		
テキスト	「倫敦塔・幻影の盾」（新潮文庫）。「文鳥・夢十夜・永日小品」（角川文庫）。「漱石日記」（岩波文庫）。「漱石書簡集」（岩波文庫）	参考文献	江藤淳『漱石とその時代』1, 2, 3。角野喜六『漱石のロンドン』。出口保夫『ロンドンの夏目漱石』。出口『漱石のロンドン風景』、出口『世紀末のイギリ
評価方法	指定のブックレポート:40% 前・後期末のレポート:40% 出席状況と授業参加度:20%		

英米文化研究		通年 8 単位	2年
多民族社会アメリカ		黒岩 裕 (くろいわ ゆたか)	
ねらい	多民族社会アメリカの歴史と現状について理解を深め、アメリカをより客観的、批判的に見る目を養うことがこのゼミのねらいです。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 アメリカをみる視点 第2回 多民族社会としてのアメリカ 第3回 植民地時代の移民 第4回 旧移民1 第5回 旧移民2 第6回 旧移民3 第7回 新移民1 第8回 新移民2 第9回 新移民3 第10回 アジア系とヒスパニック1 第11回 アジア系とヒスパニック2 第12回 日系移民1 第13回 日系移民2 第14回 日系移民3 第15回 前期のまとめ	<b>【後期】</b> 第1回 アメリカ先住民1 第2回 アメリカ先住民2 第3回 日米の先住民 第4回 同化に関する考え方1 第5回 同化に関する考え方2 第6回 多言語社会としてのアメリカ1 第7回 多言語社会としてのアメリカ2 第8回 人種民族間の格差1 第9回 人種民族間の格差2 第10回 差別1 第11回 差別2 第12回 学生の発表1 第13回 学生の発表2 第14回 学生の発表3 第15回 授業のまとめと感想	
進め方	講義を中心に授業を進めますが、学生の皆さんの発言や質問も歓迎します。テキストだけでなく、関連するビデオ・映画や新聞・雑誌記事なども利用します。		
テキスト	明石紀雄・飯野正子著『エスニック・アメリカ[新版]』（有斐閣）	参考文献	授業中に適宜紹介します。
評価方法	出席と授業への参加:40% 課題:10% 発表:10% 卒業レポート:40%		

英米文化研究		通年 8 単位	2年
現代イギリスにおける文化と社会を読み解く		酒井 順子 (さかい じゅんこ)	
ねらい	現代イギリスは、EU統合、移民・難民の急増、経済のグローバル化、家族のあり方の変化などから、伝統的なイギリス社会のイメージとは大きく異なってきている。この授業では、変容しつつある21世紀のイギリスの文化と社会についての資料を読んで、自らも関心を持ったテーマについて調べ、研究レポートを書いてみる。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 授業の進め方、報告レジュメの書き方 第2回 イギリス研究の基礎知識と参考文献 第3回 イギリスにおける人種、エスニシティ、移民(1) 第4回 イギリスにおける人種、エスニシティ、移民(2) 第5回 イギリスにおける人種、エスニシティ、移民(3) 第6回 イギリスにおける階級をめぐる諸議論(1) 第7回 イギリスにおける階級をめぐる諸議論(2) 第8回 イギリスにおける階級をめぐる諸議論(3) 第9回 イギリスにおけるジェンダーをめぐる諸議論(1) 第10回 イギリスにおけるジェンダーをめぐる諸議論(2) 第11回 イギリスにおけるジェンダーをめぐる諸議論(3) 第12回 イギリス的なる文化: マジョリティの文化(1) 第13回 イギリス的なる文化: マジョリティの文化(2) 第14回 イギリス的なる文化: マジョリティの文化(3) 第15回 まとめ、夏休みの課題について	<b>【後期】</b> 第1回 夏休みの課題報告会 第2回 レポート・論文の書き方(剽窃を避けるには) 第3回 研究レポートの課題報告: 文献目録をつくる 第4回 英字新聞記事から資料を探す 第5回 インターネットから資料を探す 第6回 伝記研究の方法 第7回 映像資料からイギリスを見る 第8回 映像資料を解釈するには 第9回 研究レポート中間報告 第10回 研究レポート中間報告 第11回 レポート・論文の構成と書き方 第12回 注のつけ方、書誌情報の書き方 第13回 研究レポート最終報告 第14回 論文の仕上げ: 体裁の整え方 第15回 合評会	
進め方	前期は、英文資料を読んで現代イギリスの文化と社会についての理解を深めていく。後期は、各自が自分の関心に沿ってテーマを選び、現代イギリスの文化社会の変容について調べ、自らの考察をレポートあるいは論文としてまとめていく。個人研究でもグループ研究でもよい。各自の研究テーマは自由に選んでほしいが、授業ではエスニシティ研究の比重を高くする予定である。		
テキスト	資料を授業のはじめに配布する。	参考文献	木下卓他『イギリス文化55のキーワード』。その他必要に応じて紹介する。
評価方法	課題・授業での発表:40% 前期レポート:20% 最終レポート・論文:40%		

英米文化研究		通年 8 単位	2年
日・米英間コミュニケーションの諸問題		高野 嘉明 (たかの よしあき)	
ねらい	日・米英間で英語を使用してコミュニケーションを行う場合を想定し、そこに関係してくる外国語としての英語という言語的要素、ボディールンゲージなどの非言語的要素、および文化・社会的背景などの日・米英間の相違に関する理解を深め、異文化間コミュニケーションの際に生じうる障害を克服する方策を検討したいと思います。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 前期分のがイダンス 第2回 コミュニケーションのブロセス 第3回 異文化間コミュニケーションのブロセス(1) 第4回 異文化間コミュニケーションのブロセス(2) 第5回 (異文化間)コミュニケーションの断絶 コミュニケーションのモデル 第7回 異文化間コミュニケーションのモデル(1) 第8回 異文化間コミュニケーションのモデル(2) 第9回 異文化間コミュニケーションの言語の問題(1) 第10回 異文化間コミュニケーションの言語の問題(2) 第11回 異文化間コミュニケーションの言語の問題(3) 第12回 異文化間コミュニケーションの非言語的側面(1) 第13回 異文化間コミュニケーションの非言語的側面(2) 第14回 異文化間コミュニケーションの非言語的側面(3) 第15回 前期分のまとめ	<p>【後期】</p> 第1回 後期分のがイダンス 第2回 異文化間コミュニケーションの身体言語の問題 第3回 顔の表情とアイコンタクトの問題 第4回 ジェスチャーの問題 第5回 姿勢の問題 第6回 時間の捉え方の問題 第7回 空間の捉え方の問題 第8回 身体接触の意味の問題 第9回 異文化間コミュニケーションと文化の関係のケース・スタディー 第10回 集団志向と個人志向の問題 第11回 日本の集団の特質(1) 第12回 日本の集団の特質(2) 第13回 アメリカの集団の特質(1) 第14回 アメリカの集団の特質(2) 第15回 後期分のまとめ	
進め方	前期は基本的に文献を交替で読んでいく形式で授業を行います。後期はそのほかに二人一組で研究発表をする形も交えながら授業を進めていく予定です。また、希望があれば卒業論文の指導も行います。		
テキスト	テキストは使用しません。授業中に配布するプリントを教材として利用します。	参考文献	必要に応じて授業中に適宜紹介します。
評価方法	出席:30% 授業への参加度:50% 研究発表:20%		

英米文化研究		通年 8 単位	2年
英語の発達と言語としての特徴		高橋 教雄 (たかはし のりお)	
ねらい	地球語・国際語など様々な名前と呼ばれる英語は、どのような過程を経て現在の姿を持つに至ったのか、また、どのような特徴を持つ言語であるのかを、日本語と対照しながら、様々な<問い>を通して学んでいきます。問題を意識し、調べ、まとめ、そして発表する習慣を身につけることを目指します。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 イントロダクション (英語を学ぶ姿勢) 第2回 The Story of English (1) (ビデオ) 第3回 英語史概観 (1) : 古英語 第4回 英語史概観 (2) : 中英語 第5回 英語史概観 (3) : 近代英語・現代英語 第6回 The Story of English (2) (ビデオ) 第7回 音声上の特徴 (1) : 母音・子音 第8回 音声上の特徴 (2) : リズム・強勢・イントネーション 第9回 音声上の特徴 (3) : 同化・異化・脱落・添加・異分析 第10回 The Story of English (3) (ビデオ) 第11回 語彙の特徴 (1) : 屈折 第12回 語彙の特徴 (2) : 派生 第13回 語彙の特徴 (3) : ゲルマン語と非ゲルマン語の語彙 第14回 The Story of English (4) (ビデオ) 第15回 研究課題の確認とまとめ	<p>【後期】</p> 第1回 基本文型 : 主要素と従要素、節と句 第2回 動詞 (1) : 時制、進行相と完了相 第3回 動詞 (2) : 能動態と受動態 第4回 動詞 (3) : 動詞句の構造 第5回 疑問文 : 一般疑問文・特殊疑問文など 第6回 準動詞 (1) : 不定詞の用法と意味上の主語 第7回 準動詞 (2) : 分詞と意味上の主語 第8回 準動詞 (3) : 動名詞と意味上の主語 第9回 名詞 : 可算名詞と不可算名詞、冠詞、代名詞 第10回 形容詞と副詞 : 比較 (原級・比較級・最上級) 第11回 複文 (1) : 名詞節 第12回 複文 (2) : 形容詞節 第13回 複文 (3) : 副詞節 第14回 語法 : 直接話法と間接話法 第15回 研究発表とまとめ	
進め方	ビデオと教科書を用い、世界中に広まった英語の特徴を学んでいきます。また、身近な事柄に関する<問い>を通して、英語に対する理解を深めていきます。後期は、英語の文構造について、具体的な練習問題を通して確認していきます。		
テキスト	McCrum, MacNeil, Cran, <i>The Story of English</i> , McMillan LanguageHouse その他プリント教材	参考文献	随時授業中に紹介します。
評価方法	出席・授業への参加度:30% 小テスト:20% 卒業論文又はレポート:50%		

英米文化研究		通年 8 単位	2年
社会とことば		横溝 環 (よこみぞ たまき)	
ねらい	社会がことばに与える影響、ことばが社会に与える影響は計り知れないものがあります。このゼミでは、身近にある具体的な事例から、社会・人・ことばの関わりについて考え、検討していくことを目的とします。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 インTRODクダクシヨン 第2回 ことばのはなし① 第3回 ことばのはなし② 第4回 ことばと人と文化① 第5回 ことばと人と文化② 第6回 ことばとコミュニケーション① 第7回 ことばとコミュニケーション② 第8回 ことばの接触・選択① 第9回 ことばの接触・選択② 第10回 ことばと民族・国家① 第11回 ことばと民族・国家② 第12回 ことばとパワー① 第13回 ことばとパワー② 第14回 レポート・論文のテーマを考える、先行研究を探す 第15回 まとめ	<b>【後期】</b> 第1回 夏休みの課題報告 第2回 レポート・論文を書くプロセスを学ぶ 第3回 調査・分析方法を学ぶ① 第4回 調査・分析方法を学ぶ② 第5回 調査・分析方法を学ぶ③ 第6回 調査・分析方法の選定、レポート・論文作成計画を立てる 第7回 日本語を英語で説明してみよう①/レポート・論文作成 第8回 日本語を英語で説明してみよう②/レポート・論文作成 第9回 日本語を英語で説明してみよう③/レポート・論文作成 第10回 プレゼンテーションの方法を学ぶ/レポート・論文作成 第11回 レポート・論文を仕上げる、プレゼンテーション準備 第12回 プレゼンテーション① 第13回 プレゼンテーション② 第14回 プレゼンテーション③ 第15回 まとめ	
進め方	前期はテキストおよび参考資料に沿って、講義と討論を中心に進めていきます(毎回、テーマに関する課題あり)。後期は、各自関心のあるテーマについて(自らが立てた計画に沿って)レポートまたは論文を作成していきます。希望があれば、ディベート、シミュレーションゲームなどアクティビティも取り入れていきます。		
テキスト	飯野公一・恩村由香子・杉田洋・森吉直子(2003)『新時代の言語学—社会・文化・人をつなぐもの』くろしお出版 その他、配布資料を活用する。	参考文献	岡本佐智子(2008)『日本語教育能力検定試験に合格するための社会言語学』アルク その他、適宜紹介する。
評価方法	出席:20% 課題報告・提出物など:40% プレゼンテーション:20% レポート・論文:20%		

イギリスの文化と社会		通年 4 単位	2年
イギリスを理解するための6つのテーマ		梅垣 千尋 (うめがき ちひろ)	
ねらい	社会階級、福祉国家、家族と女性、帝国支配、北アイルランド問題、多文化主義という6つのテーマから、イギリスの文化と社会の諸特徴を理解する。イギリスが直面してきたさまざまな問題を学ぶことによって、私たちがごく当然なものとなしている現代日本のあり方を相対化する視点を得てもらうことが、この講義の大きなねらいとなる。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 インTRODクダクシヨン 第2回 社会階級 (1) 階級社会イギリスのなりたちと構造 第3回 社会階級 (2) 『マイ・フェア・レディ』 第4回 社会階級 (3) 階級にねざした文化のかたち 第5回 社会階級 (4) ディスカッション・小レポート 第6回 福祉国家 (1) 福祉国家イギリスの変容 第7回 福祉国家 (2) 『ナビゲーター』 第8回 福祉国家 (3) 社会民主主義と新自由主義の相克 第9回 福祉国家 (4) ディスカッション・小レポート 第10回 家族と女性 (1) 近代家族モデルの形成と変容 第11回 家族と女性 (2) 『Dear フランキー』 第12回 家族と女性 (3) 家族の多様化と女性の「自己決定」 第13回 家族と女性 (4) ディスカッション・小レポート 第14回 まとめ (1) 第15回 まとめ (2)	<b>【後期】</b> 第1回 帝国支配 (1) 大英帝国としてのイギリス 第2回 帝国支配 (2) イギリスのインド支配 第3回 帝国支配 (3) 植民地支配の功罪とグローバリゼーション 第4回 帝国支配 (4) ディスカッション・小レポート 第5回 北アイルランド問題 (1) イギリスのアイルランド支配 第6回 北アイルランド問題 (2) 『妻の穂をゆらす風』 第7回 北アイルランド問題 (3) 北アイルランド紛争の展開 第8回 北アイルランド問題 (4) 『ナッシング・パーソナル』 第9回 北アイルランド問題 (5) ロールプレイング・小レポート 第10回 多文化主義 (1) 移民社会イギリスのなりたちと構造 第11回 多文化主義 (2) 『ぼくの国、パパの国』 第12回 多文化主義 (3) テロ事件と多文化共生の模索 第13回 多文化主義 (4) ディスカッション・小レポート 第14回 まとめ 第15回 年度末レポート執筆	
進め方	講義が中心となるが、可能なかぎり映画やドキュメンタリー、音楽などの視覚資料を使用して理解の助けとする。各テーマの締めくりとなる回の授業では、全員でグループ・ディスカッションを行ったのち、それぞれのテーマにかんする小レポートを書いてもらう。詳しいことは、初回の授業で説明する。		
テキスト	特に使用せず、授業中に配布するプリントを教材とする。	参考文献	図書館カウンターにある2010年度指定参考図書目録を参照のこと。それ以外の文献については授業中に適宜紹介する。
評価方法	授業への参加姿勢:15% 小レポート(6回分):60% 夏休み明けレポート:10% 年度末レポート:15%		

アメリカの文化と社会		通年 4 単位	2年
アメリカ社会について考える		荒木 純子 (あらき じゅんこ)	
ねらい	アメリカ合衆国の地理、歴史、文学、政治、社会・文化、ポピュラーカルチャー、外交、そして日米関係について学び、アメリカに関する知識を得る。その際、最近興隆している多文化主義（エスニシティ、ジェンダーなど）、グローバルイゼーションといった観点も分析の視野に入れ、アメリカ社会への理解を深める。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 イントロダクション 第2回 アメリカとは？ 第3回 地理 第4回 歴史の復習 1 第5回 歴史の復習 2 第6回 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター訪問 第7回 政治思想 1 第8回 政治思想 2 第9回 政治機構 1 第10回 政治機構 2 第11回 外交 1 第12回 外交 2 第13回 日米関係 第14回 まとめ 第15回 前期試験もしくはレポート指導	<b>【後期】</b> 第1回 夏休みのまとめ 第2回 文学 1 第3回 文学 2 第4回 文学 3 第5回 文学 4 第6回 ポピュラーカルチャー 1 第7回 ポピュラーカルチャー 2 第8回 社会・文化 1 第9回 社会・文化 2 第10回 社会・文化 3 第11回 社会・文化 4 第12回 比較文化 1 第13回 比較文化 2 第14回 まとめ 第15回 後期試験もしくはレポート指導	
進め方	テキストを中心にし、文字史料、ビデオや画像も利用しながら理解を深める。予習部分や講義の内容などについて、簡単なコメントを毎回提出してもらう。各学期末には人数により、アメリカについての基本的な知識を問う試験、もしくは期末レポートを課す。また前期と後期各1-2回ずつ、小さめの課題をレポートにて提出してもらう。		
テキスト	古矢旬十遠藤泰生編『新版アメリカ学入門』（南雲堂、2004）、亀井俊介編『アメリカ文化史入門』（昭和堂、2006）他、プリントを配布する。	参考文献	能登路雅子『ディズニーランドという聖地』（岩波新書、1990）、齋藤眞他監修『アメリカを知る事典（新訂増補版）』（平凡社、2000）他、授業中に指
評価方法	前期試験／レポート：30% 後期試験／レポート：30% 課題：20% 出席（コメント）：20%		

人種問題		通年 4 単位	2年
多文化主義アメリカをさぐる		君塚 淳一 (きみづか じゅんいち)	
ねらい	主にアメリカにおける人種問題を中心に、時代背景・政治・経済・芸術・宗教など様々な分野から捉え、異文化理解・コミュニケーション・文学/文化研究などをする上での基礎知識およびその考え方を養う。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 オリエンテーション（多文化主義アメリカと人種問題） 第2回 差別と偏見を考える（1） 第3回 差別と偏見を考える（2） 第4回 差別と偏見を考える（3） 第5回 映像、記事などによる分析と討論（差別・偏見について） 第6回 アメリカの多民族と多文化主義（概説） 第7回 アフリカ系アメリカ人（1） 第8回 アフリカ系アメリカ人（2） 第9回 アフリカ系アメリカ人（3） 第10回 映像、記事の分析と討論（差別・偏見について） 第11回 ユダヤ系アメリカ人（含むヨーロッパのユダヤ人）（1） 第12回 ユダヤ系アメリカ人（含むヨーロッパのユダヤ人）（2） 第13回 ユダヤ系アメリカ人（含むヨーロッパのユダヤ人）（3） 第14回 映像、記事の分析と討論（差別・偏見について） 第15回 前期のまとめ、課題などについての説明	<b>【後期】</b> 第1回 課題についてのコメント、映像、記事の分析と討論 第2回 日系アメリカ人（1） 第3回 日系アメリカ人（2） 第4回 日系アメリカ人（3） 第5回 映像、記事の分析と討論（日系アメリカ人について） 第6回 先住民が抱える問題について（概説） 第7回 アメリカ先住民（1） 第8回 アメリカ先住民（2） 第9回 アメリカ先住民（3） 第10回 映像、記事の分析と討論（アメリカ先住民について） 第11回 アメリカのその他の少数民族とアメリカの課題（1） 第12回 アメリカのその他の少数民族とアメリカの課題（2） 第13回 改めてアメリカ、その多民族と多文化主義を考える（1） 第14回 改めてアメリカ、その多民族と多文化主義を考える（2） 第15回 前期・後期の総復習、後期試験などについて説明	
進め方	アフリカ系アメリカ人、ユダヤ系アメリカ人、アメリカ先住民、日系アメリカ人ほか、多民族・多文化で構成されるアメリカを、活字資料、映像資料などを中心に考える。同時に何が偏見や差別を生むのか、ステレオタイプ化された表現、描写に惑わされることなくどうすれば真実が見えるかも考えたい。		
テキスト	『アメリカ映像文学に見る少数民族』（大阪教育図書）	参考文献	授業中にその都度、指示をする。
評価方法	出席：20% レポート：30% 試験：50%		



比較文化		通年 4 単位	2年
岩倉使節団の米・英見聞記を読む		加納 孝代 (かのう たかよ)	
ねらい	明治時代の日本人が記したアメリカとイギリスの旅行記の原文を、旅程に沿って読み、当時の日本人の目に映った、今から約140年前の米国と英国の姿を明らかにする。またその旅行記の文章の味読・精読を通じて、彼らが自分と異なる文化や社会をどのように受け止めたかを理解し、現在にも必要とされる比較文化的視点を探る。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 岩倉使節団の世界旅行全体と、アメリカ見聞の概要 第2回 太平洋の船旅、合衆国総説、サンフランシスコの1 第3回 サンフランシスコの2。学校（小学校、大学）見学 第4回 アメリカ横断鉄道旅行の1。シェラネヴァダ山脈越え 第5回 アメリカ横断鉄道旅行の2。ユタとロッキー山脈 第6回 アメリカ横断鉄道旅行の3。シカゴからワシントンDCへ 第7回 ワシントンDCの1。共和国の精神。奴隷制度について 第8回 ワシントンDCの2。市内の各種政府機関見学 第9回 ニューヨークの1。セントラルパーク。マンハッタン 第10回 北部諸州見聞記の1。ウェストポイント、ナイアガラ 第11回 北部諸州見聞記の2。ボストン市内。太平楽会 第12回 ワシントンDCの3。合衆国南部諸州について 第13回 フィラデルフィア訪問。大統領制度の概要。工場見学 第14回 ニューヨークの2。米国経済の中心地。パイプ会社 第15回 ボストン近郊の木綿、羊毛紡織工場見学	<b>【後期】</b> 第1回 岩倉使節団のイギリス見聞の概要。イギリス総説 第2回 ロンドンの1。ケンジントンの万博と英国産業の発展 第3回 ロンドンの2。小学校見学。倫敦塔、水晶宮ほか 第4回 リヴァプールの1。ドック見学。進んだ港湾施設の役割 第5回 リヴァプールの2。造船所、機関車・レール工場 第6回 マンチェスターの1。板ガラス、木綿紡織工場など 第7回 マンチェスターの2。禁酒団体。商工会議所。裁判所 第8回 グラスゴー市内の商業施設。プラントイル邸 第9回 エディンバラ市内見学。ロスリン教会。ベルロック灯台 第10回 スコットランドのハイランド紀行の1。ピトロクリ村 第11回 スコットランドのハイランド紀行の2。トロザック地方 第12回 ブラドフォード。社会福祉モデル都市ソルデア 第13回 シェフィールドの製鉄工場 第14回 パーミンガムと陶磁器のチェスター 第15回 ロンドンの3。イギリス視察の総括	
進め方	テキスト『米欧回覧実記』の第1巻「アメリカ編」と第2巻「イギリス編」を、原文に即して読んでいく。紀行内容については要約を用意するが、毎回原文の重要箇所の音読を行なうので、テキストは必ず持参のこと。関連する資料（地図・写真・文献）を多く参照する。毎回授業の終りに、200字程度のコメントを提出してもらう。		
テキスト	久米邦武『米欧回覧実記』第1巻、第2巻（岩波文庫）。（4月時点で2冊とも同時に買っておくように）	参考文献	『特命全権大使「米欧回覧実記」銅版画集』（久米美術館）、『久米邦武文書』1~4（吉川弘文館）、『（久米博士九十年回顧録）上・下（宗高書房）』
評価方法	授業中のコメント:60% 前・後期末のレポート:40%		

英文法		通年 4 単位	2年
細かい意味の違いまで区別できるようになるための英文法		中本 恭平 (なかもと きょうへい)	
ねらい	ひとつの文法形式にはひとつの意味がある。形式が同じなら意味に共通点があり、逆に形式が異なれば意味も異なる。互いに関連しあう文法形式を比較しながら、それぞれの文法形式が持つ意味を確認していく。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 前期ガイダンス 第2回 時制（空間と時間） 第3回 単純現在と単純過去 第4回 単純現在と現在進行 第5回 現在進行と現在完了 第6回 現在完了と現在完了進行 第7回 単純過去と過去完了 第8回 話法と時制の一致 第9回 時制のまとめ 第10回 「未来」 第11回 法助動詞 [1] 第12回 法助動詞 [2] 第13回 法助動詞 [3] 第14回 前期の復習 第15回 前期試験	<b>【後期】</b> 第1回 後期ガイダンス 第2回 「使役動詞」とされる動詞群 第3回 受動文 第4回 不定詞と動名詞 第5回 定冠詞と不定冠詞 第6回 可算と不可算 第7回 There 構文 第8回 不定代名詞 第9回 形容詞（限定と非限定） 第10回 関係詞（制限と非制限） 第11回 否定表現 第12回 呼応 第13回 その他の文法項目 第14回 後期の復習 第15回 後期試験	
進め方	毎時間プリントを配布し、プリントに沿って講義する形で授業を進める。なお、本講座では、文の書き換えや空所補充などの練習や、各種検定試験対策の練習などはいっさい行わない。例年受講者が多く、大教室での講義になることが予想される。私語雑談、授業中の教室の出入りなど、授業の妨げになる行為は禁止する。また、出席は厳密に取る。		
テキスト	市販のテキストは使用しない。	参考文献	短大図書館備え付けの「授業別・指定参考図書リスト」を参照。
評価方法	試験:80% 平常点:20%		

英語史		通年 4 単位	2年
英語の成長と変化の歴史：英語の辿った歴史を内面史・外面史の両観点から概観し、印欧語族に属する英語への理解を深める。		片見 彰夫 (かたみ あきお)	
ねらい	goodの比較級がなぜbetterか、toothの複数形はどうしてteethなのかということが頭をよぎったことはありませんか。さらに、独仏語と似た単語が英語に存在するのはなぜなのでしょう。本講義では英語史の知識を得ることによって、様々な文化的要因が言葉に影響を及ぼしていることを見出し、英語学習が一層盛り多いものになることを目指します。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 ガイダンス：英語史を学ぶ意義について 第2回 古英語の系譜：インドヨーロッパ語とゲルマン語(1) 第3回 古英語の系譜：インドヨーロッパ語とゲルマン語(2) 第4回 古英語の背景(1) 第5回 古英語の背景(2) 第6回 古英語の文字と発音 第7回 古英語の諸方言 第8回 古英語の語彙：ケルト語の影響 第9回 古英語の語彙：ラテン語、古ノルド語の影響 第10回 古英語の形態論 第11回 古英語の文法(1) 第12回 古英語の文法(2) 第13回 古英語作品読解と文法：Beowulf を読む(1) 第14回 古英語作品読解と文法：Beowulf を読む(2) 第15回 試験	<b>【後期】</b> 第1回 ノルマン人によるイングランド征服の歴史的背景 第2回 ノルマン人によるイングランド征服の言語的背景 第3回 中英語の語彙：フランス語、ラテン語等からの借入 第4回 中英語の文法特徴と、英語の復活 第5回 中英語作品読解と文法：Chaucer を題材に 第6回 中英語作品読解と文法：Morte D' Arthur を題材に 第7回 近代英語概観：標準英語の成立 第8回 英訳聖書にみられる英語の通時的変化 第9回 近代英語の読解と文法：Shakespeare を題材に(1) 第10回 近代英語の読解と文法：Shakespeare を題材に(2) 第11回 18世紀英語概観：規範文法の始まりと、文法的特徴 第12回 18世紀小説の読解と文法：Henry Fieldingを題材に 第13回 アメリカ英語の成立と発展(1) 第14回 アメリカ英語の成立と発展(2) 第15回 試験	
進め方	講義が中心ですが、受講者の理解を深めるため、BBC製作の英語史に関する番組や中世英語英文学作品がテーマとなっている映画等の視聴覚教材を適宜活用します。グループワークや自主リサーチも行うことで、受講生全員が自主的に楽しみながら学べるよう配慮します。丁寧に分かりやすく指導しますので心配は無用です。		
テキスト	Gary Buck, The History of the English Language in Simplified English. その他毎時補助教材として自作ハンドアウトを配布。	参考文献	短期大学図書館カウンターにある2010年度指定参考図書目録を参照のこと。
評価方法	前期定期試験:35% 後期定期試験:35% レポート:15% 小テスト、発表:15%		

社会言語学		通年 4 単位	2年
社会に見る言語の諸様相		狩野 郁子 (かのう いくこ)	
ねらい	あるひとつの言語が、地理的要因、社会的要因によりさまざまな形で現われる。その諸様相を、アメリカ社会の中の英語を中心に観察し、ことばの果たす社会的役割を考える。また、ことばがどのように習得されるか、言語習得の過程を、諸現象を資料に探究していく。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 Introduction to the course 第2回 Language in society: varieties 第3回 The standard: British and American English 第4回 African American English 第5回 African American English 第6回 History of African American English 第7回 Lingua Francas, and Pidgin and Creoles 第8回 Supplementary reading on Pidgins and Creoles 第9回 Wrap-up on Pidgins and Creoles 第10回 Styles, Slangs, and Jargons 第11回 Taboos and Euphemisms 第12回 Lanuage and Sexism 第13回 Supplementary reading on language and sexism 第14回 Wrap-up 第15回 Term exam	<b>【後期】</b> 第1回 Introduction to the course 第2回 Language Acquisition 第3回 Theories of child language acquisition 第4回 Acquisition of phonology, morphology and syntax 第5回 The biological foundation of language acquisition 第6回 Supplementary reading on first language acquisition 第7回 Article continues. 第8回 Article continues. 第9回 Theories of second language acquisition 第10回 Learning a second language 第11回 Supplementary reading 第12回 Brain and language 第13回 Brain and language 第14回 Wrap-up 第15回 Term exam	
進め方	講義を中心とし、必要に応じてテープ、ビデオ、DVDを使用し、理解を促していく予定である。		
テキスト	プリント使用	参考文献	Victoria Fromkin & Robert Rodman著 An Introduction to Language (Harcourt Brace Jovanovich College Publishers) 他
評価方法	Participation and In-class tasks:30% Term Examination:70%		

異文化間コミュニケーション		通年 4 単位	2年
異文化間コミュニケーション		横溝 環（よこみぞ たまき）	
ねらい	本講義は、異文化間コミュニケーションに関する基本的理論を学ぶとともに、自己および他者への気づきを高め、その上で、自他の尊重が相互になされるようなコミュニケーションを探求していくことを目的とする。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 オリエンテーション、文化とは 第2回 コミュニケーションとは 第3回 自分とは 第4回 価値観と文化的特徴① 第5回 価値観と文化的特徴② 第6回 価値観と文化的特徴③ 第7回 アイデンティティ 第8回 ステレオタイプと偏見① 第9回 ステレオタイプと偏見② 第10回 言語コミュニケーション① 第11回 言語コミュニケーション② 第12回 ポライトネス① 第13回 ポライトネス② 第14回 まとめ 第15回 試験	<b>【後期】</b> 第1回 非言語コミュニケーション① 第2回 非言語コミュニケーション② 第3回 カルチャーショックと文化的調節① 第4回 カルチャーショックと文化的調節②：映像から 第5回 カルチャーショックと文化的調節③：映像から 第6回 協調的問題解決 第7回 異文化コミュニケーションスキル 第8回 日米コミュニケーションスタイル比較①：映像から 第9回 日米コミュニケーションスタイル比較②：映像から 第10回 メディアの中の文化① 第11回 メディアの中の文化② 第12回 文化心理学的な視点から物事を捉えてみよう① 第13回 文化心理学的な視点から物事を捉えてみよう② 第14回 まとめ 第15回 試験	
進め方	講義とともに、それに関連したエクササイズを行なう。さらに、それらをグループ討議または全体討議へとつなげていく（受講者の積極的参加を望む）。レスポンスシートを授業の最後に毎回提出してもらう。		
テキスト	特に定めず、配布資料を活用する。	参考文献	八代京子ほか(2009)『異文化トレーニング【改訂版】』（三修社） その他、適宜紹介する。
評価方法	出席:20% レスポンス・提出物:20% 積極的参加度:20% 試験:40%		

カナダの文化と社会		通年 4 単位	2年
二つの公用語をもつ多民族国家の実像		竹中 豊（たけなか ゆたか）	
ねらい	カナダはアメリカ合衆国の“余白”でない。その歴史発展、民族構成、社会構造、地誌、芸術の表現など、独自の姿をもっている。こうしたカナダを21世紀型の実験国家としてとらえ、ユニークな姿を探っていく。また、英語圏に囲まれた中での仏語系ケベックの生き方にも焦点をあてる。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 カナダとは何か：地域研究としてのカナダ 第2回 基本知識：kanataから公用語まで 第3回 地理的多様性：10州・3準州の特質 第4回 自然地誌：広大な国土のもつ社会的・文化的意味 第5回 カナダ社会：民族のおよび地域的多様性 第6回 多文化主義：多民族共生の実験舞台 第7回 英・仏バイリンガリズム：「公用語法」と言語環境 第8回 先住民と白人文明：“Where the Spirit Lives”（映画） 第9回 移民社会としてのカナダ：その形成と特質 第10回 カナダの歴史：二種類の歴史像 第11回 カナダ社会の形成（1）：ヌーヴェル・フランス時代 第12回 カナダ社会の形成（2）：イギリス領北米から現代まで 第13回 毛皮交易とカナダ：二つの世界の出会いから 第14回 毛皮文化の功罪：“Do You Want Furs?”を考える 第15回 試験	<b>【後期】</b> 第1回 カナダとアメリカ合衆国：アメリカ嫌いのカナダ人？ 第2回 カナダの政治文化：イギリス型とアメリカ型の折衷？ 第3回 議会制度：カナダ人はどのように統治されているか 第4回 政党システム：アメリカとの比較 第5回 カナダ総督と首相：型破りな人たち 第6回 Glenn Gould：ユニークなピアニスト 第7回 カナダのアート：Group of Sevenからケベック像まで 第8回 カナダのアニメーション作品：Frédéric Backの世界 第9回 ケベック映画：“大いなる休暇” 第10回 ケベックとは何か：カナダの「フランス的事実」 第11回 フランス系ケベック：その歴史的アイデンティティ 第12回 ケベック社会の近代化：「静かな革命」とその影響 第13回 ケベックの言語政治：生き残りの手段としての仏語 第14回 カナダとケベック：文化的共生はどこまで可能か 第15回 試験	
進め方	講義が中心となるが、ビデオおよびOHPを多用する。視覚的にもカナダのイメージを構築していく。マップ・スタディを含め、課題を出す頻度は多い。ほぼ毎回配布資料あり。		
テキスト	日本カナダ学会編『新版史料が語るカナダ 1535-2007』有斐閣2008 および小畑精和・竹中豊 編著『ケベックを知るための54章』明石書店 2009	参考文献	竹中豊『カナダ：大いなる孤高の地—カナダの想像力の展開』彩流社 2000年。日本カナダ学会編『はじめて出会うカナダ』有斐閣2009年。
評価方法	レポート:30% 試験:30% 出席:40%		



オーストラリアの文化と社会		通年 4 単位	2年
現代オーストラリア社会		杉田 弘也 (すぎた ひろや)	
ねらい	オーストラリアの歴史的背景を踏まえながら、同国の現代社会を理解することを目的としています。今年は総選挙もあります。「世界の中のオーストラリア」「白豪主義から多文化主義社会への移行」「アボリジナルオーストラリア国民と非アボリジナルオーストラリア国民との関係」といった話題を中心に、オーストラリア社会の変貌を感じ取って下さ		
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 イントロダクション</p> <p>第2回 オーストラリアの概要</p> <p>第3回 オーストラリアの自然と環境</p> <p>第4回 オーストラリアの地球温暖化対策</p> <p>第5回 オーストラリアの教育制度</p> <p>第6回 オーストラリアの福祉制度</p> <p>第7回 オーストラリアの政治制度</p> <p>第8回 イギリスの侵略(入植)、植民地社会の形成</p> <p>第9回 連邦結成</p> <p>第10回 オーストラリアの外交政策の特徴</p> <p>第11回 ラッド政権の外交政策</p> <p>第12回 第1次世界大戦：大英帝国とオーストラリア</p> <p>第13回 第2次世界大戦：アメリカ依存の始まり</p> <p>第14回 世界金融危機とオーストラリア</p> <p>第15回 試験</p>	<p>【後期】</p> <p>第1回 1970年代以降のオーストラリア</p> <p>第2回 先住社会の過去と現在</p> <p>第3回 先住民政策の推移</p> <p>第4回 先住民の権利</p> <p>第5回 Stolen Generations</p> <p>第6回 先住民への謝罪</p> <p>第7回 現在の先住民政策</p> <p>第8回 2010年総選挙</p> <p>第9回 白豪主義とその背景</p> <p>第10回 白豪主義社会から多文化主義社会へ</p> <p>第11回 マルティカルチュラルオーストラリアの現状</p> <p>第12回 オーストラリアの移民政策</p> <p>第13回 オーストラリアの難民政策</p> <p>第14回 オーストラリア文化</p> <p>第15回 まとめ</p>	
進め方	テキストを指定していますが、それ以上にハンドアウトや(可能な限り)視聴覚教材を活用していきます。授業の最後10分程度を使って、その日の授業に関する質問やコメントを書いていただき、この内容を点数化して平常点にします。講義が中心ですが、活発な質疑応答や討論を期待しています。オーストラリアに関心のある受講生を歓迎します。		
テキスト	竹田いさみ、森健、永野隆行(編)、『オーストラリア入門第2版』、東京大学出版会(2007)をテキストとします。	参考文献	初回の講義でそのほかの参考文献の一覧を配布します。
評価方法	前期試験:30% 後期レポート:40% 平常点:30%		

東南アジア諸国の文化と社会	通年 4 単位	2年
東南アジアの国ぐにとわたしたちの暮らし	佐伯 奈津子 (さえき なつこ) 長瀬 理英 (ながせ りえい)	
【ねらい】		
「エスニック」ブームで、東南アジアの食べ物や踊り、歌などが流行しています。でもそこでどんなことが起きているのか、人びとがどんな暮らしをしているのか、意外に知られていないのではないのでしょうか。わたしたち日本人の生活とも密着に関係する東南アジア（とくに島嶼部）について理解することを目指します。		
【授業計画】		
前期		
第 1回	オリエンテーション、ロールプレイのグループ分け	
第 2回	日本の援助は役に立っている？—政府開発援助とは	
第 3回	日本の援助は役に立っている？—訴えられたダム建設	
第 4回	日本の援助は役に立っている？—援助が拷問センターに？	
第 5回	国際協力の意味—地震・津波被災者支援活動の現場から	
第 6回	ロールプレイ	
第 7回	日本の貧困、アジアの貧困	
第 8回	モノから見える東南アジアとわたしたち—ナイキの靴	
第 9回	モノから見える東南アジアとわたしたち—エビ、バナナ	
第10回	日本に暮らす東南アジアの人びと—研修生と労働者	
第11回	日本に暮らす東南アジアの人びと—難民申請者	
第12回	ディスカッション	
第13回	ビデオ鑑賞—ビルマ人難民申請者一家の物語	
第14回	東南アジアとのよりよい関係を目指して	
第15回	長文リスポンスシート記入、提出	
後期		
第 1回	オリエンテーション	
第 2回	地図から見えてくるもの①自然・人びと・歴史	
第 3回	地図から見えてくるもの②社会・文化・政治・経済	
第 4回	表現から見えてくるもの① 絵画・詩からみる多様性	
第 5回	表現から見えてくるもの② 映画からみる政治と宗教	
第 6回	大陸部の暮らし①メコン河流域の自然と人々	
第 7回	大陸部の暮らし②メコン河流域諸国の歴史と変化	
第 8回	大陸部の暮らし③日本など外部者の関わり	
第 9回	グループ・ディスカッション	
第10回	島嶼部の暮らし① フィリピン・ミンダナオ	
第11回	島嶼部の暮らし② 争いと人々の暮らし	
第12回	島嶼部の暮らし③ 争いと外部者の関わり	
第13回	「国民国家」・「民族／エスニック集団」と紛争	
第14回	グループ・ディスカッション	
第15回	後期全体のまとめ	
【進め方】		
東南アジアの諸問題（国家・民族、開発、人権、環境、先住民、女性、子どもなど）は、わたしたちと無関係の「貧しい南の国ぐに」のできごとではありません。どのような関係があるのか、一緒に考えていきたいと思います。ただ文献を読んだり、講義を受けたりするだけではなく、みなさんが積極的に参加できるよう、グループで議論、発表してもらいます。		
【テキスト】		
毎回レジュメを用意します。		
【参考文献】		
授業時に随時紹介します。		
【評価方法】		
前期—出席:40%	リスポンスシート:60%	
後期—出席:30%	レポート:70%	

アフリカ諸国の文化と社会		通年 4 単位	2年
アフリカについて考えよう		笹岡 雄一（ささおか ゆういち） 西村 幹子（にしむら みきこ）	
ねらい	アフリカ諸国の社会における様々な特徴や課題を理解し、異文化理解を深めるとともに国際的な課題についても知識を養う。前期は主に歴史、社会制度、政治・国際関係などマクロな視点に焦点を当て、アフリカのおかれた状況について学ぶ。後期は文化、教育、健康など主に社会開発の観点からアフリカ諸国の子どもたちが直面する課題について学ぶ。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 インTRODakション—アフリカが抱える課題 第2回 アフリカの自然環境と人口・家族・ジェンダー 第3回 アフリカの歴史①—植民地前／植民地時代 第4回 アフリカの歴史②—1960 - 70年代 第5回 アフリカの歴史③—1980 - 90年代 第6回 アフリカの歴史④—2000年代 第7回 アフリカの貧困 第8回 アフリカの紛争 第9回 アフリカの難民・避難民 第10回 アフリカのガバナンス①—統治制度 第11回 アフリカのガバナンス②—腐敗・汚職 第12回 アフリカのガバナンス③—分権化への動き 第13回 アフリカへの援助①—貧困削減支援 第14回 アフリカへの援助②—ガバナンス支援 第15回 前期のまとめ	<b>【後期】</b> 第1回 インTRODakション—アフリカの文化と社会 第2回 アフリカの民族と文化 第3回 アフリカの宗教と言語 第4回 アフリカの子どもを取り巻く課題①—教育 第5回 アフリカの子どもを取り巻く課題②—健康 第6回 アフリカの子どもを取り巻く課題③—割礼 第7回 アフリカの子どもを取り巻く課題④—児童労働 第8回 アフリカの子どもを取り巻く課題⑤—孤児化 第9回 アフリカの子どもを取り巻く課題⑥—人身売買 第10回 アフリカの子どもを取り巻く課題⑦—紛争 第11回 アフリカへの援助③—教育支援 第12回 アフリカへの援助④—保健支援 第13回 アフリカへの援助⑤—参加型開発支援 第14回 参加型ワークショップ 第15回 後期のまとめ	
進め方	基本的に講義形式だが、グループディスカッション、ワークショップなどを適宜用いて学生の参加を重視する。前期と後期の最後にレポートの提出を義務付ける。		
テキスト	峯陽一・武内進一・笹岡雄一編『アフリカから学ぶ（仮題）』（有斐閣、2010年6月予定）	参考文献	石弘之『子どもたちのアフリカ』（岩波書店、2005年）、白戸圭一『ルボ資源大陸アフリカ』（東洋経済新報社、2009年）他
評価方法	参加度:30% 前期レポート:35% 後期レポート:35%		

英米文学概論		通年 4 単位	1・2年
女性文学の発掘		遠藤 恵子（えんどう けいこ）	
ねらい	女性作家の作品を技法に着目しながら読むことで、なぜこれらの女性作家たちが‘モダニスト’であるのか、なぜ再評価されるようになったのか（発掘されたのか）学んでいく。視点を変えたと「悪い」は「よい」に「幸福」は「不幸」に変わる。誰にとつての「よい」か誰にとつての「幸福」か、それらを考察しながら、自分はどう読むのか考える。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 授業の進め方の説明 技法(art)とは何か 第2回 ケイト・ショパンについて 第3回 Doctor Chevalier's Lie (プリント) 第4回 (各作品を通してサブテキストを読み取る練習をする) 第5回 A Very Fine Fiddle (プリント) 第6回 A Very Fine Fiddle 第7回 The Benitou's Slave (プリント) 第8回 The Benitou's Slave 第9回 The Benitou's Slave 第10回 The Story of an Hour (プリント) 第11回 The Story of an Hour 第12回 The Story of an Hour 第13回 The Story of an Hour 第14回 papaerの書き方について説明 第15回 まとめ	<b>【後期】</b> 第1回 キャサリン・マンスフィールドについて 第2回 Bliss 読解 第3回 Bliss 読解 第4回 Bliss 読解 第5回 Bliss 読解 第6回 Bliss 一回目の感想（幸福とは何か） 第7回 dramatic artについて説明 第8回 dramatic artを通して作品を読む 第9回 dramatic artによって明らかになること 第10回 グループ討論 第11回 グループ討論 第12回 グループ発表 第13回 全体を通して読み返す 第14回 papaerの説明 第15回 一年を通してのまとめ	
進め方	講義、演習が中心となる。作品を読みながら技法に着目し、技法を通して読むと作品がどの様に変貌するか発表や討論を通して実感する。あわせてpaperの書き方についても学ぶ。		
テキスト	1) 『‘モダニスト’女性作家—語りの戦略—』（八潮出版社） 2) 「幸福」、他。（プリント使用）	参考文献	図書館カウンターにある2010年度指定参考図書目録を参照のこと。
評価方法	レポート（2回）:80% 授業への取り組み:20%		

総合英語基礎 I		前期 1 単位	1年
英語基礎講座〔発音・リスニング中心〕		猪熊 作巳 (いのくま さくみ)	
ねらい	英語の発音を聞き取るために、また英語らしい発音を身に付けるために必要となる音声特徴と音声変化を、英語のポツプスを題材にして訓練して行く。授業の大半は音声の聞き分けや書き取りを行うが、並行して語彙の増強にも取り組んでもらう予定である。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 第1章：音の連結1 第3回 第2章：音の脱落1 第4回 第3章：音の同化1 第5回 第4章：音の脱落2 第6回 第5章：音の脱落3 第7回 第6章：短縮形の音1 第8回 【中間試験】 第9回 第7章：音声変化の複合 第10回 第8章：音の脱落4 第11回 第9章：注意すべき母音 第12回 第10章：音の弱化 第13回 第11章：短縮形の音2 第14回 第12章：音の連結2 第15回 【期末試験】		
進め方	原則的に、テキストの章立てにしたがって毎回1章ずつ進めていく。授業時間の大半は音声の聞き分けや書き取りに取り組む予定。またこれと並行して、語彙力の向上を目指して毎回の授業の最初に単語テストを行う。詳細については初回授業で説明する。		
テキスト	Teruhiko Kadoyama & Simon Capper. English with Hit Songs. revised edition. Seibido. 2004.	参考文献	適宜紹介する
評価方法	出席:20% 試験:50% 課題・小テストなど:30%		

総合英語基礎 I		前期 1 単位	1年
英文理解の基礎（第一段）		加納 孝代 (かのう たかよ)	
ねらい	文の内容を正確に理解するために、主語と述語に注目した文構造の解明からスタートする。基本的な文法事項を復習しながら進める。耳で聞いた英文をそのまま理解できるリスニング力の養成も目指す。		
授業計画	【前期】 第1回 Unit 0 英語の学びの出発点 第2回 Unit 1 品詞 第3回 Unit 2 文の種類（肯定・否定・疑問・命令・感嘆） 第4回 Unit 3 時制・進行形 第5回 Unit 4 基本の5文型 第6回 Unit 5 第5文型のさまざまな文 第7回 Unit 6 主語と動詞の一致 第8回 Unit 7 前置詞 第9回 Unit 8 文接続詞 第10回 Unit 9 従属節 第11回 Unit 10 現在完了 第12回 Unit 11 過去完了と未来完了 第13回 Unit 1 受け身形 第14回 応用練習 第15回 応用練習		
進め方	音読と筆写を伴う教科書の予習は必須。教室では教科書以外に小説の一部や、詩、歌、劇の台詞などの資料を適宜用いて、応用力をつける。前回分復習の小テストを毎授業時冒頭に行うので、遅刻しないように努力すること。		
テキスト	藤田直也：「クラスで読む英文法」（朝日出版社）	参考文献	随時指示
評価方法	毎授業時の小テスト:60% 期末試験:40%		

総合英語基礎Ⅱ		後期 1 単位	1年
英語基礎講座〔文法・語彙中心〕		猪熊 作巳 (いのくま さくみ)	
ねらい	英語の基本的な文法事項を網羅的に把握することで文構造への意識を高め、その上で数多くの文法問題に取り組むことで英語を読み、書くための知識を定着させる。また、毎回行う単語テストを通して語彙力のアップにも努める。		
授業計画	【後期】 第1回 ガイダンス 第2回 品詞と文の成分 第3回 名詞と代名詞 第4回 動詞と基本時制 第5回 助動詞と文の種類 第6回 完了と副詞 第7回 形容詞と副詞 第8回 比較 第9回 【中間試験】 第10回 準動詞(1) 第11回 準動詞(2) 第12回 関係詞(1) 第13回 関係詞(2) 第14回 話法 第15回 【期末試験】		
進め方	各回で平均2章分の文法事項を取り扱う予定なので、指定された範囲をしっかりと予習した上で授業に出席することが大前提となる。またこれと並行して単語テストを毎回行う。(詳細は初回授業で説明する)		
テキスト	kenichi kadooka& Simon Rosati.Fundamental Grammar and Vocabulary. Seibido. 2007.	参考文献	適宜紹介する。
評価方法	出席:20% 試験:50% 課題・小テストなど:30%		

総合英語基礎Ⅱ		後期 1 単位	1年
英文理解の基礎 (第二段)		加納 孝代 (かのう たかよ)	
ねらい	英文の内容を正確に理解するために、中級の文法事項を復習しながら種々の文を読む練習をする。相手に意味内容が伝えられるような読み方・話し方の力の養成も目指す。		
授業計画	【後期】 第1回 Unit 13 使役形 第2回 Unit 14 知覚動詞 第3回 Unit 15 法助動詞 第4回 Unit 16 仮定法 第5回 Unit 17 関係節 第6回 Unit 18 関係副詞 第7回 Unit 19 分詞修飾 第8回 Unit 20 分詞構文 第9回 Unit 21 冠詞 第10回 Unit 22 不定詞 第11回 Unit 23 形式主語 第12回 Unit 24 比較級・最上級 第13回 応用練習 第14回 応用練習 第15回 まとめ		
進め方	音読と筆写を伴う教科書の予習は必須。教室では教科書以外にさまざまな英文を適宜用いて、応用練習をする。前回分復習の小テストも毎授業時冒頭に行うので、遅刻しないように努力すること。		
テキスト	藤田直也：「クラスで読む英文法」(朝日出版社)	参考文献	随時指示
評価方法	毎授業時の小テスト:60% 期末試験:40%		

総合英語		前期 2 単位	1・2年
		フィリップス (PHILLIPS, J. R.)	
ねらい	This course will use the seven-part TOEIC format to introduce strategies that will help students improve their comprehension of spoken and written English. At the same time, students who make effort can expect a significant improvement in their TOEIC scores.		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Course Introduction - TOEIC Part 1 Pictures 第2回 Part 1 Pictures - Part 2 Question and Response 第3回 Part 2 Question and Response - Part 3 Conversations 第4回 Part 3 Conversations - Part 4 Short Talks 第5回 Part 4 Short Talks 第6回 TOEIC Listening Summary and TOEIC Listening Quiz 第7回 Quiz Feedback and Listening Review 第8回 TOEIC Reading - Part 5 Incomplete Sentences 第9回 Part 5 Incomplete Sentences - Part 6 Text Completion 第10回 Part 6 Text Completion -Part 7 Reading Comprehension 第11回 Part 7 Reading Comprehension 第12回 TOEIC Reading Summary and TOEIC Reading Quiz 第13回 Quiz Feedback and Reading Review		
進め方	This course will use the TOEIC test as a tool for building general English communication skills. The course will focus on building skills and strategies that will not only improve TOEIC scores, but also improve overall English listening and reading comprehension.		
テキスト	Handouts	参考文献	
評価方法	Quizzes:50% Attendance and participation:50%		

総合英語		前期 2 単位	1・2年
TOEICリーディングを解くスキル		飯野 義一 (いいの よしかず)	
ねらい	出題タイプごとにTOEICリーディングを「解くスキル」を学び、同時に英語の読解力を身に付けます。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ガイダンスとTOEICの概要 第2回 TOEICリーディング小模擬試験(1) 第3回 同じような意味を持つ名詞、同じような意味を持つ動詞 第4回 語形、時制 第5回 修飾語句、前置詞 第6回 代名詞、接続詞 第7回 名詞を問う問題、動詞を問う問題 第8回 時間を問う問題、人物を問う問題 第9回 WH疑問文、質問の3タイプ 第10回 全体を問う問題、詳細を問う問題 第11回 推測して答える問題、同じような意味を持つ語 第12回 二つの文章を読む問題(1)(2) 第13回 追加の読解問題(内容未定) 第14回 TOEICリーディング小模擬試験(2) 第15回 期末試験		
進め方	第2回にTOEICリーディング小模擬試験を行う。第3回以降は出題タイプごとの問題文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出をして練習問題を解いていきます。第14回に再びTOEIC小模擬試験を行い、解き方が変わったことを確認。毎回の授業で練習問題を中心にミニテストを行います。		
テキスト	Vital Skills for the TOEIC Test: Reading	参考文献	“Instant Vocabulary” 「ビジネス英単語倍増法」
評価方法	出席・授業参加度:20% 平常ミニテスト:30% 期末試験:50%		

総合英語		後期 2 単位	1・2年
		フィリップス (PHILLIPS, J. R.)	
ねらい	This course will use the seven-part TOEIC format to introduce strategies that will help students improve their comprehension of spoken and written English. At the same time, students who make effort can expect a significant improvement in their TOEIC scores.		
授業計画	【後期】 第1回 Course Introduction - TOEIC Part 1 Pictures 第2回 Part 1 Pictures - Part 2 Question and Response 第3回 Part 2 Question and Response - Part 3 Conversations 第4回 Part 3 Conversations - Part 4 Short Talks 第5回 Part 4 Short Talks 第6回 TOEIC Listening Summary and TOEIC Listening Quiz 第7回 Quiz Feedback and Listening Review 第8回 TOEIC Reading - Part 5 Incomplete Sentences 第9回 Part 5 Incomplete Sentences - Part 6 Text Completion 第10回 Part 6 Text Completion -Part 7 Reading Comprehension 第11回 Part 7 Reading Comprehension 第12回 TOEIC Reading Summary and TOEIC Reading Quiz 第13回 Quiz Feedback and Reading Review 第14回 Using TOEIC as part of a long term learning strategy		
進め方	This course will use the TOEIC test as a tool for building general English communication skills. The course will focus on building skills and strategies that will not only improve TOEIC scores, but also improve overall English listening and reading comprehension.		
テキスト	Handouts	参考文献	
評価方法	Quizzes:50% Attendance and participation:50%		

総合英語		後期 2 単位	1・2年
TOEICリーディングを解くスキル		飯野 義一 (いいの よしかず)	
ねらい	出題タイプごとにTOEICリーディングを「解くスキル」を学び、同時に英語の読解力を身に付けます。		
授業計画	【後期】 第1回 ガイダンスとTOEICの概要 第2回 TOEICリーディング小模擬試験(1) 第3回 同じような意味を持つ名詞、同じような意味を持つ動詞 第4回 語形、時制 第5回 修飾語句、前置詞 第6回 代名詞、接続詞 第7回 名詞を問う問題、動詞を問う問題 第8回 時間を問う問題、人物を問う問題 第9回 WH疑問文、質問の3タイプ 第10回 全体を問う問題、詳細を問う問題 第11回 推測して答える問題、同じような意味を持つ語 第12回 二つの文章を読む問題(1)(2) 第13回 追加の読解問題(内容未定) 第14回 TOEICリーディング小模擬試験(2) 第15回 期末試験		
進め方	第2回にTOEICリーディング小模擬試験を行う。第3回以降は出題タイプごとの問題文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出をして練習問題を解いていきます。第14回に再びTOEIC小模擬試験を行い、解き方が変わったことを確認。毎回の授業で練習問題を中心にミニテストを行います。		
テキスト	Vital Skills for the TOEIC Test: Reading	参考文献	“Instant Vocabulary” 「ビジネス英単語倍増法」
評価方法	出席・授業参加度:20% 平常ミニテスト:30% 期末試験:50%		

実務英語		通年 4 単位	2年
ビジネス英語入門		飯野 義一 (いいの よしかず)	
ねらい	ビジネスの様々な局面に英語で対応できるようになることを目指します。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 ガイダンス 第2回 手紙 第3回 ファックス 第4回 電子メール 第5回 電話 第6回 面会の申し入れ 第7回 ホテルの予約 第8回 オフィスの移転通知、支店の開設案内 第9回 レセプションへの招待 第10回 アンケートの回答依頼 第11回 資料の送付依頼 第12回 慶弔 第13回 会議の通知 第14回 議事録 第15回 前期試験	<b>【後期】</b> 第1回 物品の購入 第2回 社内研修の案内、社外研修の報告 第3回 日程の中間報告 第4回 引合い (1) 第5回 引合い (2) 第6回 注文 第7回 注文 (続き) 第8回 代金の回収 第9回 クレームと調整 第10回 履歴書 第11回 応募の手紙 第12回 推薦状、面接 第13回 面接結果の通知 第14回 退職願 第15回 後期試験	
進め方	ビジネス文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出をして練習問題を解いていきます。英語を通してビジネスの世界を知ることによってビジネス英語の基礎力を身に付けます。毎回の授業でポキャプラーを中心にミニテストを行います。		
テキスト	Essentials of Global Business English	参考文献	「ビジネス英単語倍増法」 「Instant Vocabulary」
評価方法	出席・授業参加度:20% 平常ミニテスト:30% 期末試験:50%		

時事英語		通年 4 単位	1・2年
時事英語入門		飯野 義一 (いいの よしかず)	
ねらい	様々な分野の英語ニュースが読解できるようになることを目指します。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 ガイダンス 第2回 眠っているような米国の田舎町、英語教育の中心に变身 第3回 血液型で性格が決まるのか？ 第4回 若田宇宙飛行士、日本人初の長期滞在へ 第5回 米大統領一家はアメリカ社会の縮図 第6回 保護者へのお知らせ：子育てには「しつけ」が大事 第7回 漢字に悪戦苦闘するインドネシア人介護士たち 第8回 アラブ女性、空の上で職と自由を得る 第9回 日本の2作品、アカデミー賞受賞 第10回 中国司法当局、ネットでの人身攻撃に対し規制強化 第11回 2頭のロバを連れて移動図書館 第12回 ダーウィン生誕200年 第13回 完全崩壊したソマリア 第14回 待ジャパン、WB C連覇 第15回 前期試験	<b>【後期】</b> 第1回 靴投げつけ男、アラブ世界で「反米」の象徴に 第2回 ボスニアの平和、民族対立で風前のともしび 第3回 アイスランドで女性先導始まる 第4回 NY中心部貧困地区の学校、必修外国語は日本語 第5回 ロシアで孤児たちの避難村 第6回 アルゼンチンで若者向けサブカルチャー大人気 第7回 スコットランドの素人歌手、ネットで大騒ぎに 第8回 ノーベル物理学賞、日本人3人同時受賞 第9回 日陰で咲く中国流ヒップホップ 第10回 フランス、カフェの消滅とライフスタイルの変化 第11回 十代の日本人ゴルファーに熱狂 第12回 英字新聞から (記事未定) 第13回 英字新聞から (記事未定) 第14回 英字新聞から (記事未定) 第15回 後期試験	
進め方	ニュース文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出をしていきます。ニュースの内容を楽しみながら量をこなして読解の基礎力を身に付けます。毎回の授業でポキャプラーを中心にミニテストを行います。		
テキスト	English through the News Media	参考文献	「Instant Vocabulary」 「ビジネス英単語倍増法」
評価方法	出席・授業参加度:20% 平常ミニテスト:30% 期末テスト:50%		



時事英語		通年 4 単位	1・2年
新聞英語の入門講座		高野 嘉明 (たかの よしあき)	
ねらい	英字新聞の記事のうち、日本で直前に起こった、または今起きている最新の出来事を扱っている記事を教材とし、記事の種類、記事の構成、見出し・書き出し・本文の特徴など、英字新聞についての基本的な事柄を学びます。また、各々の記事に関する歴史・社会・文化的背景についても考えます。TOEICのReading部門の対策にもなるでしょう。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 前期分のガイダンス 第2回 英字新聞の特徴(1) 第3回 英字新聞の特徴(2) 第4回 新聞記事の構成(1) 第5回 新聞記事の構成(2) 第6回 見出しの特徴：現在形の用法 第7回 見出しの特徴：動詞の省略 第8回 見出しの特徴：冠詞の省略 第9回 見出しの特徴：to不定詞の用法 第10回 見出しの特徴：現在・過去分詞の用法 第11回 見出しの特徴：句読点の用法 第12回 見出しの特徴：省略語の多用 第13回 見出しの特徴：短い語の多用 第14回 前期分のまとめ 第15回 前期定期試験	<b>【後期】</b> 第1回 後期分のガイダンス 第2回 新聞英語の特徴：ハイフンの多用 第3回 新聞英語の特徴：複合語の多用 第4回 新聞英語の特徴：略語・短縮語の多用 第5回 新聞英語の特徴：同格表現の多用 第6回 新聞英語の特徴：that節の多用 第7回 新聞英語の特徴：無生物主語の多用 第8回 新聞英語の特徴：所有格の多用 第9回 新聞英語の特徴：分詞構文の多用 第10回 新聞英語の特徴：前置詞の省略 第11回 新聞英語の特徴：能動態の多用 第12回 新聞英語の特徴：動名詞の多用 第13回 新聞英語の特徴：文修飾副詞の多用 第14回 後期分のまとめ 第15回 後期定期試験	
進め方	日本の最新の出来事を扱っている、政治・経済・社会・文化・芸能・スポーツなど様々な種類の記事を教材としますので、毎回、次週分のプリントを配布して予習をしてきてもらい、「授業計画」に示されている各回のテーマを中心にしつつ、記事全体の内容についても細かくみていきたいと思います。		
テキスト	特には使用しません。	参考文献	必要に応じて授業中に適宜紹介します。
評価方法	出席:30% 授業への参加度:10% 前期レポート:10% 後期定期試験:50%		

英文情報処理		前期 2 単位	1・2年
コンピュータ・リテラシー		飯田 千代 (いいだ ちよ)	
ねらい	コンピュータは通信技術の進歩によって、私達の生活に大きな影響を与えている。本講座は、講義とパーソナル・コンピュータを使っての実習を通して、情報処理の基礎的な知識と技術を習得するとともに、科学技術の進歩に必ずつきまとう“光と影”についての理解を目的とする。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 ガイダンス、利用者登録等実習環境準備 第2回 講義：コンピュータの基礎知識 第3回 コンピュータの基本操作 第4回 ワープロ実習（1）文字入力の基礎、文章の編集 第5回 インターネット実習（1） 第6回 インターネット実習（2） 第7回 ワープロ実習（2）文字飾り 第8回 ワープロ実習（3）課題演習 第9回 ワープロ実習（4）課題演習 第10回 ワープロ実習（5）郵便処理 第11回 ワープロ実習（6）課題演習 第12回 画像処理 第13回 ワープロ実習（7）画像の貼り付け 第14回 パワーポイント実習 第15回 課題演習		
進め方	コンピュータの基礎知識に関して講義した後実習に入る。実習では解説に従って実際に操作し、まとめの課題演習をおして技術を身につける。		
テキスト	情報処理講義（宮田雅智・宮治裕著 同文書院）	参考文献	随時紹介する。
評価方法	実習課題:80% 出席:20%		

英文情報処理		前期 2 単位	1・2年
英語を学ぶ人の情報処理入門		齋藤 真弓 (さいとう まゆみ)	
ねらい	英語を学ぶ人達にとって、コンピュータは英文ワープロ、電子メールの利用、インターネットによる情報検索・収集など限りなく利用価値がある。本講座は英文文書作成に關しての知識を学び、日本語ワープロ、パワーポイント等を使って英文文書の作成方法を実習する。また英文のタッチタイピングを学ぶこともできる。		
授業計画	<b>【前期】</b> 第1回 コンピュータ基礎1 学内外からの利用・メールの設定 第2回 コンピュータ基礎2 ファイル操作 Touch Typing練習 第3回 英文の入力(短文) Punctuation Rule 第4回 英文の入力(長文) Paragraph 行間隔 テスト 第5回 英文・日本語の作成 (The Bridges of Madison County) 第6回 インターネット・情報検索 (Oscar Wilde' s epigrams) 第7回 英文の校正記号 表の作成 図の利用 第8回 テンプレートの利用 Office Memo 第9回 英文ビジネスレターの知識1 Business Letter Format 第10回 英文ビジネスレターの知識2 Personal Business Letter 第11回 英文レポート作成の知識 Footnotes 英語の略語 第12回 パワーポイントの基礎 第13回 エクセルを使った表計算基礎(関数やグラフ) 第14回 エクセルを使った表計算(英文) 第15回 授業のまとめ		
進め方	キーボードを見ないで入力する方法(タッチタイピング)実習は小テストを行いながら、効率よく進めていく。毎回新しい課題を行い、進度は速いが、必ず力がつくので頑張してほしい。課題はすべて添削して返却する。受講学生への連絡は、電子メールにより行い、授業外の時間でも質問などを受付ける。		
テキスト	『Wordでつくる英文文書+PowerPoint』(同友館)	参考文献	『ウェブスター ビジネス英語事典』(研究社出版)
評価方法	課題:60% テスト:30% 平常点:10%		

英文情報処理		後期 2 単位	1・2年
コンピュータ・リテラシー		飯田 千代 (いいだ ちよ)	
ねらい	コンピュータは通信技術の進歩によって、私達の生活に大きな影響を与えている。本講座は、講義とパーソナル・コンピュータを使っての実習を通して、情報処理の基礎的な知識と技術を習得するとともに、科学技術の進歩に必ずつきまとう“光と影”についての理解を目的とする。		
授業計画	<b>【後期】</b> 第1回 ガイダンス、利用者登録等実習環境準備 第2回 講義:コンピュータの基礎知識 第3回 コンピュータの基本操作 第4回 ワープロ実習(1)文字入力の基礎、文章の編集 第5回 インターネット実習(1) 第6回 インターネット実習(2) 第7回 ワープロ実習(2)文字飾り 第8回 ワープロ実習(3)課題演習 第9回 ワープロ実習(4)課題演習 第10回 ワープロ実習(5)郵線処理 第11回 ワープロ実習(6)課題演習 第12回 画像処理 第13回 ワープロ実習(7)画像の貼り付け 第14回 パワーポイント実習 第15回 課題演習		
進め方	コンピュータの基礎知識に關して講義した後実習に入る。実習では解説に従って実際に操作し、まとめの課題演習をおして技術を身につける。		
テキスト	情報処理講義(宮田雅智・宮治裕著 同文書院)	参考文献	随時紹介する。
評価方法	実習課題:80% 出席:20%		

英文情報処理		後期 2 単位	1・2年
英語を学ぶ人の情報処理入門		齋藤 真弓（さいとう まゆみ）	
ねらい	英語を学ぶ人達にとって、コンピュータは英文ワープロ、電子メールの利用、インターネットによる情報検索・収集など限りなく利用価値がある。本講座は英文文書作成についての知識を学び、日本語ワープロ、パワーポイント等を使って英文文書の作成方法を実習する。また英文のタッチタイピングを学ぶこともできる。		
授業計画	<p>【後期】</p> <p>第1回 コンピュータ基礎1 学内外からの利用・メールの設定</p> <p>第2回 コンピュータ基礎2 ファイル操作 Touch Typing練習</p> <p>第3回 英文の入力(短文) Punctuation Rule</p> <p>第4回 英文の入力(長文) Paragraph 行間隔 テスト</p> <p>第5回 英文・日本語の作成 (The Bridges of Madison County)</p> <p>第6回 インターネット・情報検索 (Oscar Wilde' s epigrams)</p> <p>第7回 英文の校正記号 表の作成 図の利用</p> <p>第8回 テンプレートの利用 Office Memo</p> <p>第9回 英文ビジネスレターの知識1 Business Letter Format</p> <p>第10回 英文ビジネスレターの知識2 Personal Business Letter</p> <p>第11回 英文レポート作成の知識 Footnotes 英語の略語</p> <p>第12回 パワーポイントの基礎</p> <p>第13回 エクセルを使った表計算基礎(関数やグラフ)</p> <p>第14回 エクセルを使った表計算(英文)</p> <p>第15回 授業のまとめ</p>		
進め方	キーボードを見ないで入力する方法(タッチタイピング)実習は小テストを行いながら、効率よく進めていく。毎回新しい課題を行い、進度は速いが、必ず力がつくので頑張ってもらいたい。課題はすべて添削して返却する。受講学生への連絡は、電子メールにより行い、授業外の時間でも質問などを受付ける。		
テキスト	『Wordでつくる英文文書+PowerPoint』(同友館)	参考文献	『ウェブスター ビジネス英語事典』(研究社出版)
評価方法	実習課題:60% テスト:30% 平常点:10%		